

# 東筑會報

TOCHIKU  
KAIHO  
2025.10.1  
(令和7年)

No. 46



2025年度東筑会総会・同窓生交流会の運営を担当した当番期94期

## 東筑会の「絆」を更に強く

東筑会会長 深田 高一 (62期)



東筑同窓生2万2千人を超える皆様には、益々ご健勝にてご活躍のことと心からお慶び申し上げます。

6月の東筑会総会・懇親会には、東京・関西等各支部の会長、役員を始め、会員の皆様560余名のご出席を賜りました。94期当番期のご尽力によって盛大に終えることができ、東筑会の絆を更に強く得ることができました。同窓会の皆様、当番期の皆様に心からお礼を申し上げます。

母校の東筑生は高い志を胸に、学習活動はもとより、部活動にも情熱を注ぎ、社会に貢献する次世代のリーダーを目指して文武両道に励んでいます。2月28日には123期生273名が東筑会に入会され、「永遠の縁」の絆が結ばれました。

さて、本年度3月末まで、「文武両道・質実剛健」の校是推進のためにご尽力いただきました小川昇二郎校長(81期)が退職、田中憲明参事兼事務局長が転任され、加えて藤本喜久代副校長も転任されました。後に安田賢二校長(83期)、長野裕二副校長、有吉由紀子事務局長(84期)

が4月1日付けで着任されました。4月8日には新入生126期280名の入学式も盛大に遂行されました。それから、令和2年から始まった大規模改造教育環境整備事業も終盤に入り、令和8年8月から同窓会館の改修工事に入ります。そのため、会館資料室の整備を行っています。

東筑からは、日本を、世界を代表する高名な方々を多く輩出しています。3年後に迎える本校創立130年に向けて、東筑中学・高校の歴史と伝統を正しく継承するため、東筑会館内にある「校史、資料室」の整理・整備を図って行こうと動き始めました。その活動の一環として、東筑の歴史、資料を集めています。皆様方で東筑の古い校史の資料や情報をお持ちの方は、東筑会事務局へご連絡をお願いいたします。今後、東筑会館内にある「校史、資料室」を専門家の方々のご助力をいただきながら、整理、整備し、次世代に正しく歴史や伝統を伝えていく動きを始めております。そのためにも年会費と東筑会への寄附金のご協力をお願いいたします。

終わりに、母校の更なる飛躍と東筑会の皆様の益々のご健勝を祈念いたしますとともに、東筑会への変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年度 東筑会総会：6月6日(土)

総会/15:00 ホテルクラウンパレス北九州

懇親会/16:00 北九州市八幡西区東曲里町3-1 TEL(093)631-1111



## 歴史と伝統ある母校に赴任して



学校長 安 田 賢 二 (83期)

東筑会会員の皆様におかれましては、日頃から本校教育活動に対する御理解をいただき、多大なる御支援・御協力を賜っておりますことに対して、深く感謝申し上げます。

私は、この春退任された小川昇二郎校長(81期)の後を受け継ぎ、第37代校長に就任しました83期の安田賢二です。歴史と伝統のある、そして母校である東筑高校で勤務できますことは、大変嬉しく、誇りに思うと同時に、その責任の重さを痛感しているところです。東筑高校の更なる充実・発展のため、微力ながら精一杯尽力いたしますので何卒よろしくお願いいたします。

令和2年度から行っている大規模改造工事は、昨年度までに教室棟、特別棟、体育館・武道場、食堂の改造工事を、そして図書館の新築工事を行ってきました。今年度はプール棟・旧図書館棟の改造工事を予定しています。

本工事については、「大規模改造教育環境整備事業」による募金を行っていただいたことで、机・椅子・温水洗浄便座、並びに体育館ステージの一文字幕等を、新規に購入でき、生徒・職員ともに新しい環境で、教育活動を行うことができています。誠にありがとうございました。

さて、現在の東筑生は、高い志を胸に、学習活動はもとより、部活動にも情熱を注ぎ、「社会に貢献する実行力のある次世代のリーダー」を目指して、まさに文武両道を果たそうとしております。一学年7クラス280名定員ですが、昨年度の進学関係では、難関の東京大学・京都大学・九州大学をはじめとする国公立大学へ172名の生徒が合格し、早稲田大学・慶応義塾大学をはじめとする私立大学へ234名の生徒が合格しました。一方、部活動では、全国大会にはボート部・ESS部・クイズ研究会が出場しました。九州大会にはボート部・水泳部・音楽部・ESS部等が出場し、県大会にも多くの部が出場しました。

私たち職員は、伝統的な「東筑魂・一本松気質」を受け継ぎつつ、「北九州に文武両道の東筑あり」を全国に知らしめる気概で、さらに高いレベルでの「文武両道・質実剛健」を目指して、生徒・職員が一丸となって頑張る決意を新たにしております。今後とも御理解・御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、東筑会のますますの御発展を祈念いたしますとともに、会員の皆様の御健勝と御活躍を心よりお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

令和7年度

## 東筑会総会・懇親会を終えて

副会長 仲 嘉 久 (94期)

東筑高校同窓の皆様、並びにご関係の皆様のご指導、ご支援の下、令和7年度東筑会総会・懇親会を当番期として運営できましたことを心より御礼申し上げます。

私たち94期は「織りなせ永遠(とこしえ)」の縁というテーマを掲げ、東筑同窓生の名のもとに同期の横の繋がりは勿論、世代を超えた縦の繋がりが紡いでほしいという思いを込めて、この一年間当番期として総会・懇親会の準備に携わらせていただきました。

総会・懇親会当日は、会場の収容数による人数制限があるにも関わらず、昨年同様560名以上51期から122期までの幅広い世代の方々に来場いただきました。90分という短い時間ではありましたが、少しでも東筑という同窓のご縁を紡いでいただけたのではないかと思います。

一生に一度の当番期、お世話になった母校の為に何か少しでもお役に立ちたいという思いを胸に、卒業以来30年ぶりに再会する同期達が本番が近づくにつれ一人また一人と集まり、その度に同期、同窓の絆に感謝と感動の意味を知り、互いに力を合わせ総会・懇親会の準備を進めてきました。

何もわからない状態から始動した当番期活動でしたが、各地域東筑会に参加し、多くの出会いがあり自身の見識を広げることができました。これは私達にとって大変貴重な経験

となりました。先輩方はいつも温かい心で迎えてくださり、総会・懇親会の準備を進める我々94期にたくさんのお叱咤激励のお言葉をかけていただきました。その度に母校に対する愛校心が益々深まり、充実した一年間を過ごすことができ感謝の気持ちでいっぱいです。

この当番期の一年間の活動は何物にもかえがたい貴重な経験になったと思います。今回、ご尽力いただいた本会、地域東筑会の皆様、本当にありがとうございました。

我々94期の当番期活動は終わりますが、皆様からいただいた何よりも大きな「永遠の縁」を同期一同噛みしめ、今後も東筑会活動に活かしていければと思います。また、既に活動を開始しております95期の後輩たちに、当番期活動の大変さ、素晴らしさを伝え、彼らの作り上げる総会・懇親会の一助になれるよう、引き続き期として活動してまいります。是非とも後輩たちにも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

最後になりますが、東筑会並びに地域東筑会、同窓の皆様方の今後の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



令和 7 年度 東筑会総会報告

令和 7 年度事業計画

会則第2条（本会の目的）達成のため、令和7年度は下記の事業を行う。

- ①母校発展のため、教職員・生徒・父母との密接な連携
  - ・国内研修の支援
  - ・卒業生による講演会の講師協力
  - ・図書館の充実
- ②各地区東筑会との連携強化
- ③組織網の強化（組織委員会）
- ④年会費の納入促進（財務委員会）
- ⑤東筑会報（第46号）の発行（会報委員会）
- ⑥東筑会館史料展示室の整備
- ⑦大規模改造教育環境整備事業

令和 7 年度 一般会計予算書

〔収 入〕 自 令和7年5月1日 至 令和8年4月30日 （単位：円）

| 項 目      | 予 算        | 備 考                      |
|----------|------------|--------------------------|
| 繰 越 金    | 2,126,169  |                          |
| 入 会 金    | 4,008,000  | 4,800×835人(124・125・126期) |
| 会 費      | 5,036,000  | 2,518人                   |
| 基 本 金 より | 0          |                          |
| 雑 収 入    | 30,000     | 預金利息他                    |
| 計        | 11,200,169 |                          |

〔支 出〕

| 項 目             | 予 算        | 備 考                                       |
|-----------------|------------|-------------------------------------------|
| 総 会 費           | 1,000,000  | 当番期(95期)へ                                 |
| 会 議 費           | 180,000    | 議案書、各種会議案内状等                              |
| 記 念 品 費         | 240,000    | 卒業証書入れ(アルバム式)                             |
| 会 報 費           | 3,850,000  | 会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料                        |
| 慶 弔 費           | 300,000    | 各地区東筑会、学校行事祝儀等                            |
| 旅 費 交 通 費       | 270,000    | 各地区東筑会総会出席                                |
| 会 館 管 理 費       | 90,000     | 休祝日、時間外手当                                 |
| 事 務 局 費         | 800,000    | 電話・電気料、通信費、コピー機リース料、事務室使用料、HPサーバー料、事務所備品等 |
| 振 替 手 数 料       | 470,000    | 会費振込手数料(ゆうちょ、サラト)                         |
| 賃 金             | 1,650,000  | 事務局員                                      |
| 教 育 振 興 費       | 1,900,000  | 母校教育振興・定期野球大会・生徒派遣研修補助金・図書館の充実            |
| 周 年 事 業 費 積 立 金 | 300,000    | 記念式典費用                                    |
| 基 本 金           | 0          | 基本金会計へ                                    |
| 予 備 費           | 150,169    |                                           |
| 計               | 11,200,169 |                                           |

令和6年度 一般会計決算書

〔収 入〕 自 令和6年5月1日 至 令和7年4月30日 （単位：円）

| 項 目      | 決 算        | 備 考                |
|----------|------------|--------------------|
| 繰 越 金    | 3,454,652  |                    |
| 入 会 金    | 3,945,600  | 4,800×822人         |
| 会 費      | 5,184,000  | 会費収入2,518件         |
| そ の 他    | 0          |                    |
| 基 本 金 より | 0          |                    |
| 雑 収 入    | 547,209    | 総会余剰金(93期)546,631円 |
| 計        | 13,131,461 |                    |

〔支 出〕

| 項 目             | 決 算        | 備 考                                                      |
|-----------------|------------|----------------------------------------------------------|
| 総 会 費           | 1,000,000  | 当番期(94期)へ                                                |
| 会 議 費           | 180,653    | 議案書、各種会議案内状等                                             |
| 記 念 品 費         | 232,210    | 卒業証書入れ(アルバム式)                                            |
| 会 報 費           | 3,641,256  | 会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料                                       |
| 慶 弔 費           | 290,000    | 学校行事祝儀他                                                  |
| 旅 費 交 通 費       | 254,140    | 地域東筑会旅費                                                  |
| 会 館 管 理 費       | 16,920     | 休祝日、時間外手当                                                |
| 事 務 局 費         | 957,522    | 電話・電気料、通信費、コピー機リース料、事務室使用料、HPサーバー料、事務所備品<br>※パソコン入替180千円 |
| 振 替 手 数 料       | 430,194    | 会費振込手数料                                                  |
| 賃 金             | 1,870,000  | 事務局                                                      |
| 教 育 振 興 費       | 1,832,397  | 図書館の充実、東筑・小倉定期戦<br>※母校教育振興、生徒派遣研修補助金                     |
| 周 年 事 業 費 積 立 金 | 300,000    |                                                          |
| そ の 他           | 0          |                                                          |
| 基 本 金           | 0          |                                                          |
| 予 備 費           | 0          |                                                          |
| 計               | 11,005,292 |                                                          |

令和6年度 基本金会計決算書

〔収 入〕 自 令和6年5月1日 至 令和7年4月30日 （単位：円）

| 項 目   | 金 額        | 備 考                  |
|-------|------------|----------------------|
| 繰 越 金 | 16,504,332 |                      |
| 繰 入 金 | 0          | 一般会計へ                |
| 雑 収 入 | 265        | 595(預金利息)-330(残高証明証) |
| 計     | 16,504,597 | 次年度へ繰越               |

令和6年度 東筑会会計監査報告

東筑会会長 深 田 高 一 殿

このことについて、下記のとおり報告します。

記

令和6年度「東筑会一般会計」・「東筑会基本金会計」・「東筑会周年積立金会計」について、出納簿・証拠書類等を精査、照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和7年5月16日

会計監査 筒 井 信 秋 ㊞

会計監査 小野山 美 緒 ㊞



## 当番期を終えて

94期会長 安 川 淳<sup>あき</sup> 志<sup>し</sup>

6月7日に開催されました2025年度東筑会総会・懇親会では、560名を超える幅広い世代にご出席いただき、盛会のうちに幕を閉じました。そして無事に、伝統の櫂を95期へと渡すことができました。

ご参加いただいた皆様はもちろん、温かく助言をくださった諸先輩方、至らぬ点を支えてくれた後輩たち、そして何より、最後までともに走り抜けてくれた同期のみんなに、心より感謝申し上げます。

今年のテーマは「織り成せ 永遠（とこしえ）の縁」。同期の絆はもちろん、縦のつながりも強い東筑会において、その縁が新たに芽生え、さらに強くなるような懇親

## 当番期を迎えて

95期会長 大 庭 功<sup>こう</sup> 睦<sup>むつ</sup>

改めまして、この度2026年度の東筑会当番期会長を務める大庭と申します。これから来年度の総会・懇親会に向けて同期の仲間達と準備に臨んで参りますので、何卒よろしくお願い致します。

私は、東筑高校卒業後は実に30年弱、故郷を離れた生活を送り続け、現在は東京に居を構えております。そんな私に果たして当番期の会長が務まるのかと不安でしたが、先の懇親会当日には決意表明にてご臨席の皆様に盛大な拍手とお声をいただき、迎え入れていただいた役員の方々ははじめ、同郷の方々温かい人柄を感じて、思わず胸が熱くなりました。

会を目指してきました。一年をかけて準備したその舞台はあっという間にエンディングを迎えましたが、皆様の笑顔を拝見し、このテーマを形にすることができたのではないかと感じています。

何よりも、同期の仲間たちがそれぞれの役割を真剣に、そして楽しそうに果たしてくれている姿を見届けられたことは、会長としてこの上ない喜びでした。

95期の皆さんも、自分たちの思いが結実した会となるよう、是非様々なことにチャレンジしてください。

最後に、今後の東筑会の益々のご発展と、来年度の懇親会も多くの同窓生の皆様の出合いの場となることをお祈り申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

そんな感慨と共に会場を見回して、私は、実に「東筑高校」という一つの教育機関が、その主たる影響圏の九州北部に於いて、非常に重要な存在であることを再認識しました。あらゆる方面の産業に人材を継続的に輩出し、東筑会に於いては母校への支援をもつてそれを底支えし、ひいては地元の活性化に貢献されています。

その活動の礎となる来年6月の総会・懇親会。しかと備え、ご来席いただいた皆様の日々に彩りを添えるような内容を目指して参りますので、今後ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



## ◆ 第41回 東筑会ゴルフ大会成績 ◆

令和7年5月23日（金）に、チサンカントリークラブ遠賀（遠賀郡遠賀町）にて、第41回東筑ゴルフ大会が開催されました。

当日は晴天に恵まれ56期から115期の同窓生182人が参加され盛況な大会となりました。

ゴルフ自体はもとより、同窓生、先輩、後輩との久しぶりの再会を心行くまで楽しんでいただけたと思います。

若い世代の参加も徐々に増えてきている印象がありましたが、先輩方がしっかりと繋いでくれるこの大会を引き継いでいくためにも後輩たちへの積極的な声掛けの必要性も同時に感じました。

今年度の団体戦優勝は、92期の皆様でした。優勝おめでとうございます。また、準優勝は67期、3

位は73期となっております。個人戦は以下のとおりです。（敬称略）

### 個人戦

#### ●グランドシニアの部

優勝 森 照重 (63期)  
準優勝 土橋 俊一 (67期)  
3 位 下 東 益也 (57期)

#### ●シニアの部

優勝 吉 永 務 (73期)  
準優勝 佐 竹 真人 (74期)  
3 位 牛 島 重臣 (68期)

#### ●一般の部

優勝 本 山 海地 (107期)  
準優勝 那 木 健太郎 (92期)  
3 位 古 庄 憲浩 (84期)

#### ●レディースの部(一般・シニア)

優勝 柳 原 郁子 (74期)  
準優勝 柳 本 昭子 (76期)  
3 位 石 神 房子 (69期)

#### ●レディースの部(グランドシニア)

優勝 野 原 淑江 (58期)

行き届かない点もあったと思いますが、皆様のご協力のおかげで無事終えたこと大変感謝申し上げます。ありがとうございました。（94期ゴルフ委員長 仰木秀維）



団体優勝した92期の皆様



## 委員会だより

## 東筑会の存続を

組織委員長 吉松 秀雄 (78期)

今年も盛大に懇親会が開催され、久しぶりに会う同期や部活動の先輩後輩との会話を楽しめたことと思います。総会では、会費納入数が現状のままでは12年後に活動ができなくなるという報告がありました。東筑会の存続のためにも、本会と地域東筑会との連携を強めていくお手伝いができればと思っています。

また、同窓生の快挙として、柴田泰山さん(88期)が資料整理・文書作成をされた「増上寺が所蔵する三種の仏教聖典叢書」がユネスコの「世界の記憶」に登録されました。様々な分野での同窓生の活躍は、今後の東筑会の活力となるのではないのでしょうか。

組織委員会のメンバーは、私のほか、副委員長に日高教夫(64期)、委員に竹内容子(76期)、松尾康徳(84期)、三原朝利(94期)です。この5名で今年度も頑張っていきたいと思います。



## 委員会だより

## 東筑同窓の絆を深め、読みやすい会報誌に

会報委員長 青 野 元 昭 (70期)

本誌「東筑会報」では、東筑会の組織や運営、東筑奨学会、各地区東筑会だより、各期だより、各界で活躍する東筑OB、部活動OB会等を掲載しています。また、現在の東筑高校の活動の様子も投稿いただいています。会報誌作成の過程で、東筑同窓の強い絆をあらためて感じているところです。

昨年11月10日は、文化勲章を受賞された唯一無二の大先輩である「高倉 健」(本名 小田剛一)さんの没後10年であり、健さんを偲ぶ関連行事も行われています。その特集も組んでおりますので、目を通していただけたらと思います。

会報委員会では今後とも同窓の声を更に反映し、ホットな話題や同窓の活躍記事を提供していきたいと思っています。何か気づかれたことやご意見等がありましたら、事務局までお知らせください。

さて、会報委員会のメンバーは、貞末敏郎(57期)、柳本昭子(76期)、石井紀子(81期)そして私の4名の委員です。会員数約2万2千人の東筑同窓の皆様方に同窓会の活気や活力を感じていただきたく、また、読みやすい誌面になりますように、会報委員で協力して活動していきたいと思っています。今後ともご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

## 委員会だより

少しいい話 会費納入件数・金額共わずかに改善！  
でも、まだまだ赤字。10年後に運営資金枯渇の危機!!

財務委員長 三宅 正輝 (71期)

昨年度の実質納入率は15・6%です。昨年に比べて納入件数は+38件、率にして+1・53%。納入金額は+15・3万円、率にして+3・04%。おかげ様で僅かですが、改善しています。

納入方法別割合はコンビニとスマートフォン54・4%クレジット6・6%合わせて61%。郵便局37・4%です。数年前より簡便な納入方法を増やしたことが、特に若手に納入行動を促すいい結果をもたらしていると分析しています。

しかし、単年度収支を会費収入で賄うという目標には、まだほど遠く、不足分約130万円を基金から繰り入れているのが現状であります。このままだと10年後には資金が枯渇し、東筑会存続の危機に陥る恐れがあります。会費収入の増加を図るために考えられることは…

- 1 会報、同期会などでもっとアナウンスする。
- 2 各地区東筑会などで会長が繰り返し繰り返し、会員の皆様に会費納入を訴える。
- 3 終身会費導入についても考える必要があるかもしれません。以前の納入方法拡大の時に検討したことがありますが、複雑なためまだ結論をみていません。
- 4 会費納入免除期間を現在の高校卒業12年から短縮する。これは、いよいよの時の手段であり、今は「パンドラの箱」だと思っています。いずれにしても皆様方のご協力により「会費納入に良い兆しがうつす」見えてきているという嬉しいご報告をさせていただきました。

ここで2点確認をさせていただきます。

1 地域東筑会費と本東筑会費とは別物です。片方だけでなく、両方に会費納入をぜひお願いします。

2 予算に教育振興費190万円をあげています。県費では賄われない教育環境整備などに、東筑会から毎年援助しています。定期的にこれだけの金額を学校に援助している同窓会は、県内ではあまり例を見ないと聞いています。私たちも現役の時に有形無形の恩を同窓会から受けています。今こそ、その時の恩に対して、会費の納入で報いる時だと思っています。

今後とも会費の納入について、一層のご理解とご協力をお願いするものがあります。

令和6年度会報発送・年会費納入状況は最終頁に掲載しています。



# 公益財団法人 東筑奨学会 紹介とご寄付のお願い

東筑奨学会は東筑高校補習科及びその後の学校法人東筑学館の解散に伴う余剰金並びに同窓会東筑会・父母教師会・その他の地域の方々のご寄付により公益財団法人東筑奨学会として昭和56年に創設されたものです。また後のこととなりますが関東地区の大学に進学された方がたの宿舍としても利用されていきました東筑学舎の解散に伴う土地代金をご寄付いただきました活用して運営してまいりました。

具体的な活動としましては在校生に対しまして経済的に困難な生徒さん方に奨学金を僅かばかりですが授与しております。今年度は学校から推薦の経緯を報告して頂きました。また学業成績が優秀な生徒及び部活動(文武両道)に於いて活躍著しい生徒並びに3年間に亘り皆勤した生徒にも卒業式に際しまして記念品を贈り表彰しております。また黎明賞として学業成績の優秀な在校生にも記念品を授与しています。その他国内研修としまして夏休み期間中に関西・関東地区に有志を派遣する学校行事にも補助金を一部ではあります。が手助けを致しております。

これらの事業を行うにも以前は寄付金の運営益を活用してきましたが、近年は金利も低下し運営益はほぼゼロの水準となっております。地域東筑会の総会に当たり当番期のご協力のもと東筑奨学会へのご寄付もお願い

いしてまいりました。特に最近では東京東筑会をはじめ関西東筑会などからのご寄付も頂いています。また一部ではあります。が東筑高校にお世話になったとして100万円を超えるご寄付を頂戴したこともあります。また元代表理事を務めてこられました小野さま(51期)が亡くなられました折に81期の小野様から多額のご寄付を頂いたこともございました。

このような次第で活動資金はここ数年は一部多額の寄付を頂きましたので何とか活動はできていますが、このような状態がいつまで続くのかは見通せない状態となっております。金銭的に余力のある方は幾らでも結構です。是非後輩たちのためにもご寄付のほどよろしくお願いいたします。

公益財団法人 東筑奨学会  
代表理事 高 嶋 邦 秀

事務局

〒807-1083

北九州市八幡西区則松

二丁目2番24号

福岡県立東筑高等学校 東筑会館内

電話 093-603-6815

※奨学基金へのご寄付は、左記口座へ振込みください。ようお願い申し上げます。

福岡銀行 折尾支店

普通預金 1321864

西日本シティ銀行 折尾支店

普通預金 1735106

遠賀信用金庫 折尾支店

普通預金 1129508

福岡びびき信用金庫 折尾支店

普通預金 1238299

振込口座名

公益財団法人 東筑奨学会

代表理事 高嶋邦秀

令和6年度(令和6年4月)

令和7年3月 寄付者(敬称略)

- 小川昇二郎 (前東筑高校校長・81期)
- 城戸 健 (元PTA会長)
- 木崎奈央子 (元PTA会長)
- 関西東筑会
- 東京東筑会
- 北九州くきのうみ東筑会
- 遠賀町東筑会
- 芦屋東筑会
- 広島東筑会
- 東筑会ゴルフ大会時
- 東筑会総会時
- 東筑59期会
- 東京東筑会59期
- 東筑93期
- 古賀 貞巳 (48期)
- 井地 義智 (50期)
- 小宮 董 (56期)

令和7年度(令和7年4月)

令和7年7月末までの状況 寄付者(敬称略)

- 梶山 英明 (58期)
- 福井 成元 (61期)
- 三原 征彦 (61期)
- 山尾テル子 (64期)
- 藤澤 泰尊 (65期)
- 廣田 誠秀 (65期)
- 栗原 雅之 (70期)
- 岡 栄子 (71期)
- 福山 岳彦 (76期)
- 原田 美穂 (78期)
- 西本 愛 (90期)
- 指山 拓也 (93期)
- 大曲 慎一 (93期)
- 3,112,193円
- 城戸 健 (元PTA会長)
- 木崎奈央子 (元PTA会長)
- 東海東筑会
- 岡垣東筑会
- 宗像東筑会
- 中間東筑会
- 関西東筑会
- 水巻東筑会
- 東筑会ゴルフ大会時
- 東筑会総会時
- 須藤 正樹 (70期)
- 原田 美穂 (78期)
- 三尾 豊子 (故88期三尾慶信様お母様)



# 母校近況

## 令和7年度合格者

|       |       |     |        |     |     |        |       |       |       |        |     |       |     |         |        |     |      |     |       |       |      |        |      |     |       |      |     |       |        |     |       |         |       |        |       |       |         |        |   |
|-------|-------|-----|--------|-----|-----|--------|-------|-------|-------|--------|-----|-------|-----|---------|--------|-----|------|-----|-------|-------|------|--------|------|-----|-------|------|-----|-------|--------|-----|-------|---------|-------|--------|-------|-------|---------|--------|---|
| 国立大   | 北海道大  | 東北大 | 茨城大    | 筑波大 | 東京大 | 東京外国語大 | 東京科学大 | 信州大   | 名古屋大  | 名古屋工業大 | 京都大 | 大阪大   | 神戸大 | 京都工芸繊維大 | 島根大    | 岡山  | 広島大  | 山口大 | 愛媛大   | 福岡教育大 | 九州大  | 九州工業大  | 佐賀大  | 長崎大 | 熊本大   | 大分大  | 宮崎大 | 鹿児島大  | その他国立大 | 公立大 | 国際教養大 | 東京都立大   | 横浜市立大 | 神戸市外語大 | 大阪公立大 | 兵庫県立大 | 山口東京理科大 | 北九州市立大 |   |
| 181   | 3     | 1   | 1      | 2   | 3   | 1      | 1     | 1     | 2     | 1      | 4   | 4     | 3   | 1       | 2      | 1   | 11   | 10  | 1     | 8     | 48   | 21     | 7    | 11  | 17    | 7    | 1   | 4     | 4      | 23  | 1     | 1       | 1     | 1      | 2     | 1     | 1       | 2      | 9 |
| 九州歯科大 | 福岡県立大 | 準大学 | 防衛医科大学 | 防衛大 | 私立大 | 青山学院大  | 上智大   | 慶應義塾大 | 芝浦工業大 | 多摩美術大  | 中央大 | 東京理科大 | 日本大 | 法政大     | 武蔵野美術大 | 明治大 | 早稲田大 | 龍谷大 | 京都外語大 | 京都薬科大 | 同志社大 | 同志社女子大 | 立命館大 | 関西大 | 関西学院大 | 関西外大 | 近畿大 | 西南学院大 | 九州産業大  | 福岡大 | 産業医科大 | その他の私立大 | 海外の大学 | 台北科技大学 | その他   | 専修学校  |         |        |   |
| 4     | 1     | 6   | 5      | 1   | 282 | 1      | 1     | 1     | 3     | 2      | 1   | 2     | 4   | 1       | 3      | 2   | 8    | 1   | 2     | 1     | 16   | 1      | 38   | 2   | 15    | 4    | 3   | 55    | 5      | 39  | 16    | 54      | 5     | 5      | 2     | 2     | 2       |        |   |

## 各部活動状況

(県大会出場以上を掲載)  
(令和6年5月～令和7年7月)

|         |                                 |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |                                                                                                                                                                                             |        |                                                                                                |              |            |                                                                |            |                                                                     |          |                                                              |         |                                           |         |                           |      |                                                                                                    |      |                                          |       |                                                                                                                                                                                 |
|---------|---------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|------------|----------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------|---------|---------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ●柔道・相撲部 | ●令和6年度県柔道選手権大会<br>男子個人 66kg級 8位 | ●陸上競技部 | ●令和6年度新人戦 県予選<br>女子三段跳 7位<br>男子三段跳 7位<br>男子100m 200m 男子110m H<br>男子走幅跳<br>女子400m 800m 女子1500m<br>女子3000m 女子走高跳 女子砲丸投<br>女子やり投 女子4×400m R 出場<br>令和7年度高校総体県予選<br>男子100m 男子200m 男子110m H<br>男子400m H 男子走幅跳 男子砲丸投<br>女子100m 女子800m 女子1500m<br>女子3000m 女子100m H 女子走高跳<br>女子三段跳 女子砲丸投<br>男子4×100m R 男子4×400m R<br>女子4×100m R 女子4×400m R<br>令和7年度学年別大会 県大会<br>男子A 110m H 男子A 400m H<br>男子A 走幅跳 5位 男子A 砲丸投<br>女子B 100m 2位 女子A 砲丸投<br>女子B 200m 4位 女子A 1500m 7位<br>女子A 3000m 5位<br>女子A 走高跳 女子共通三段跳 出場 | ●水泳部 | ●令和7年度春季選抜大会<br>女子総合<br>女子800m 自由形 7位入賞<br>女子400m 自由形 2位<br>女子50m 背泳ぎ 3位<br>女子50m バタフライ 8位<br>女子平泳ぎ 8位<br>女子400m メドレーリレー 8位<br>令和7年度高校総体<br>女子800m 自由形 2位<br>女子400m メドレーリレー 6位<br>以上九州大会 出場 | ●ラグビー部 | ●令和6年度花園予選 県ベスト8<br>令和6年度新人戦 県ベスト8<br>令和7年度九州総体予選 県ベスト8<br>令和6年度新人大会県予選 出場<br>令和7年度高校総体 県ベスト16 | ●女子バスケットボール部 | ●男子バレーボール部 | ●令和7年度高校総体県大会 ベスト16<br>令和7年度天皇杯<br>福岡県ラウンド 出場<br>令和6年度県新人大会 出場 | ●女子バレーボール部 | ●令和6年度天皇杯皇后杯<br>全日本選手権大会 県ラウンド 出場<br>令和6年度県新人大会 出場<br>令和7年度県高校総体 出場 | ●バドミントン部 | ●令和6年度県新人大会<br>女子団体 女子個人ダブルス 其々出場<br>令和7年度高校総体県予選<br>女子団体 出場 | ●男子テニス部 | ●令和6年度県新人大会 男子団体 出場<br>令和7年度県高校総体 男子団体 出場 | ●女子テニス部 | ●令和6年度県新人大会<br>女子団体 県ベスト8 | ●卓球部 | ●令和6年度県新人大会<br>女子シングルス 出場<br>令和7年度県選手権大会<br>女子シングルス 女子ダブルス<br>女子団体 其々出場<br>令和7年度国民スポーツ大会<br>県予選 出場 | ●野球部 | ●第156回九州地区大会 福岡大会 優勝<br>第156回九州地区大会 ベスト8 | ●ポート部 | ●令和6年度全国高校総体(長崎) 6種目出場<br>令和6年度国民スポーツ大会(佐賀) 少年男子舵手つきクォドルブル 出場<br>令和6年度全国選抜大会九州地区予選 男子舵手つきクォドルブル 3位入賞<br>令和6年度全国高校選抜ロイヤル大会(静岡) 男子舵手つきクォドルブル 出場<br>令和7年度全九州高校体育大会 女子舵手つきクォドルブル 5位 |
|---------|---------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|------------|----------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------|---------|---------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



## 令和7年度 創立記念文化講演会

## 地域の未来を拓く挑戦！

サケ造りとまちづくりで、地域の希望の星になる

稲とアガベ株式会社 代表 岡住 修 兵氏（105期）



東筑高校体育館で講演の岡住氏

り組みました。また、醸造所のある男鹿市の発展にも尽力しており、レストラン「土と風」や一風堂監修によるラーメン屋「おがや」、その他にも雑貨店・食品加工所・ホテル等を手がけてきました。現在は男鹿市を清酒製造免許の新規申請を可能にする「日本酒特区」にして、独立を目指すさまざまな醸造家が集まる「男鹿酒シティ構想」の実現を目指し、行政と一緒に頑張っています。

講演は「地域の未来を拓く挑戦！サケ造りとまちづくりで、地域の希望の星になる」という演題で行われました。ご自身の高校時代の話から始まり、

令和7年6月12日、創立記念文化講演会が本校体育館で開催されました。毎年、各分野でご活躍の本校卒業生をお招きし、全校生徒の前で講演を依頼している学校行事で、本年度講師は本校105期で、現在「稲とアガベ株式会社」で代表を務めています岡住修兵氏です。

岡住修兵氏は、平成16年に本校にご入学されました。卒業後、神戸大学経営学部に入學し起業家精神について学びました。

その後、秋田県の新政酒造で4年半勤務し2021年に秋田県男鹿市に「稲とアガベ醸造所」をオープン。日本酒（清酒）の製造技術をベースとして、お米を原料としながら従来の『日本酒』では法的に採用できないプロセスを取り入れた、新しいジャンルのお酒である「クラフトサケ」の製造に取

り組みました。また、醸造所のある男鹿市の発展にも尽力しており、レストラン「土と風」や一風堂監修によるラーメン屋「おがや」、その他にも雑貨店・食品加工所・ホテル等を手がけてきました。現在は男鹿市を清酒製造免許の新規申請を可能にする「日本酒特区」にして、独立を目指すさまざまな醸造家が集まる「男鹿酒シティ構想」の実現を目指し、行政と一緒に頑張っています。

考えから、まちづくりに参画していったことを話されていました。岡住氏は、人間はどうせ死ぬのだから他人のために生きようという考えのもと、自分とかわつた人や街を大事にする重要性について熱心に説明されていました。特に、ないものはすべて自分たちで作ろうという考えのもと、男鹿市にこれまで存在していなかった施設を次々と作り、たくさんの方の雇用を生み出して、地元民とも信頼関係を築いていった話は、能動的に活動していくことの重要性を生徒たちに感じさせ、深く印象に残っているようでした。

岡住氏は講演を通して利他であることや思い切って挑戦することの重要性を熱心に伝えてくれました。外の気温と生徒たちの熱気もあつて、体育館はかなりの暑さになっていましたが、生徒たちは熱心にメモを取りながら、岡住氏の講演に聞き入っていました。

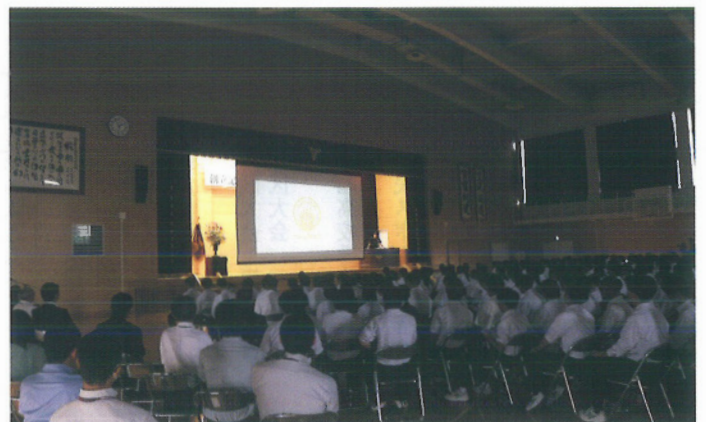
70分の講演の後、10分ほどの質疑応答時間では、数名の生徒から質問があり、起業する際の注意点や、心構え、比較的マイナーなコンテンツをどう盛り上げていくか等の質問がありました。岡住氏はその一つ一つに丁寧に回答されていました。短い質問時間でしたが、岡住氏はできる限り多くの質問に答えようと尽力してくださいました。

生徒会長の謝辞、花束贈呈、生徒たちから万雷の拍手に送られて岡住氏は体育館を後にされ、本年度の創立記念文化講演会は終了となりました。ご多忙の中にも関わらず、わざわざお越しいただき、ご講演いただいた岡住氏をはじめ、今回の講演に際してご尽力いただいた皆様方に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

講師 後藤伸太郎（113期）



生徒から謝辞を受ける岡住氏



講演を熱心に聞き入る全校生徒



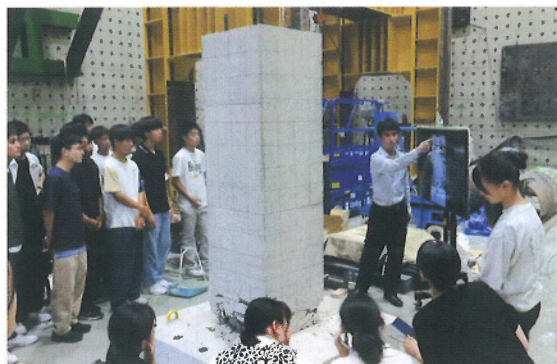
令和6年度  
国内研修

## 東筑みらいクエスト

東筑高校 124期学年主任 山本哲也(82期)

昨年も東筑会から御援助いただき、また東京東筑会や多くの卒業生の御厚意のお陰で、3泊4日の大変有意義な研修を行うことができました。誠に有り難うございました。

昨年、本研修名を生徒・職員から公募し、不安ながらも自分の五感を使ってみらいを探求し切り拓いていったほしいという思いを込めて「東筑みらいクエスト」と改称しました。



8月6日 京都大学構造実験室

令和6年8月6日、まずは京都大学桂キャンパス・工学部工学研究科を訪問しました。野口恭平助教(106期)にご尽力いただき、大学生・大学院生との昼食・懇談に続き、野口助教の模擬講義を受けた後、構造実験室・風洞実験室を案内していただきました。大き

な実験室で様々な機械を目の当たりにし、数年後の大学での実験に思いを馳せている者もいました。



8月7日 アツヴィ合同会社

8月7日は京都大学吉田キャンパス・法学部研究室を訪問しました。原田大樹教授(94期)の研究室を見学させていただいた後、教授・大学院生・大学生と懇談させていただきました。「法学」についてはもちろん、大学受験・大学生活についても詳しく教えていただきました。午後は京セラ(株)を訪問しました。創業者・稲盛和夫氏の「京セラフィロソフィ」について学び、参加者は特に「人生・仕事の結果は考え方×熱意×能力」という「人生方程式」に感銘を受けていました。

8月8日午前、東京でアツヴィ合同会社を訪問しました。岡本隆晴様(89期)の御尽力により、宗心知美様(98期)の講義を受けた後、様々な部署の方々と懇談させていただきました。個々の疑

問にも丁寧に回答していただきました。先進的な経営哲学に基づいたオフィスも解説付きで見学させていただきました。参加者は高校生にとってイメージしにくい「就職後の世界」の像が鮮明となっているようでした。午後は東京大学本郷キャンパスを訪問しました。東京大学の地方学生支援サークル「Fair Wind」のお世話で、東大に関するプレゼンテーション・パネルディスカッション・少人数グループでの質疑応答や悩み相談をしていただいた後、東大生と懇談しながらキャンパスを散策しました。本校参加者24名に対し東大生28名が対応してくださるという大変贅沢な内容でした。夜は、東京東筑会主催の懇親会に参加しました。生徒たちは当初少々気の重い「行事」として臨んだようですが、進路に関する疑問や不安を個別に話すことができ、自分の視野が広がっていくのを実感したようです。



8月8日 東京大学

最終日となる8月9日は、午前、再び東京大学本郷キャンパスを訪問し、川野昌平特任教授(81期)の特別講義を受けさせていただきました。「東大

は思っているほどハードルは高くない。あと少し手を伸ばせば届く距離にあるので臆さないで。」という心強いメッセージもいただきました。午後は、緒方林太郎衆議院議員(89期)の御案内で国会議事堂を見学させていただきました。国会での仕事や、会議の様子、議員はどのようなことを考えているのかなどを直接聞くことができ、政治について考えることができました。政治について考えることができたようです。



8月8日 東京東筑会主催の現役高校生研修激励会



## 東筑高等学校 体育祭

テーマ  
熒ひかり

学年対抗という珍しい形式で開催される母校体育祭が令和6年9月12日(木)に開催されました。第1学年は「光輝燦然」、第2学年は「猛攻」、第3学年は「蒼穹」のテーマのもと、各学年の意地とプライドをかけて熱戦が繰り上げられました。

結果は、下剋上を狙った第1・2学年の猛追を振り切った第3学年が、1018点の総合1位という結果を納めました。

令和6年度 保健体育科講師

阿部泰晟 (117期)



女子川下り(新種目)



3年生演舞



1年生学年ダンス



男子綱引き

## 文化祭を終えて

生徒会担当 永田 健斗 (109期)

生徒会の新旧交代に伴い、昨年度途中より生徒会担当を受け持つこととなりました。永田と申します。東筑同窓の皆様には、日頃より本校生徒の活動にご協力いただきましてありがとうございます。引き続き、ご支援、ご協力のほどよろしく願っています。

さて、本年度の文化祭は「START」をテーマに令和7年5月31日開催されました。新年度となって最初に全校行事を幸先のいいスタートとして欲しいという願いからです。

STARTにはSTARとARTの2つの単語が隠れており、「東筑生一人一人のもつ芸術性が星のように輝いて欲しい」と云う文化委員長をはじめとする生徒会の思いによって考えられました。

そのテーマに沿った各学年・文化部の企画は随所に創意工夫がなされ、まさに東筑生の勉強だけではない、新たな一面が見られたことと思います。また、体育館で行われたバラエティステージでは入学間もない1年生も参加し、それぞれの得意分野を発揮していました。バンド演奏のみならず、ダンスやエレクトーン、バレエなど、一人一人の個性が輝く瞬間となりました。

最後の一声企画では、全校生徒で盛

り上がり、初夏なのに熱中症が心配されるほどの熱気に体育館が包まれ、大きな盛り上がりの中、文化祭を締めくくることができました。

来年度以降も東筑生の様々な個性が輝くような文化祭にしていきたいと思っています。同窓生の皆様には、ぜひご来校いただき、往時を懐かしむとともに、現役生の姿を目に入れていただければ幸いです。





# 東筑高校野球部監督就任のご挨拶

東筑高校野球部 監督 山下 聖士 (97期)

今年の夏、青野浩彦監督が勇退され、後任として東筑高校野球部の監督に就任いたしました山下聖士です。本校97期卒業生で、東京学芸大学を卒業後、長い講師経験を経て、新規採用教員として赴任した若松高校では部長、監督を経験させていただきました、2校目となる本校で9年目を迎えたところです。教科は、高校野球の監督としては少数派の数学科です。今年の春、123期生を学年主任として無事に卒業させて、ほっと一息したところに大役を仰せつかった次第です。

この度、長きにわたり高校野球の指導に尽力され、2025年8月15日に阪神甲子園球場にて育成功労賞を受賞された青野先生との思い出を少しお話しさせていただきます。

私が入学した当時青野先生は、まだ30代であつたにも関わらず、当時からあまり多くを語られない、「一体、監督さんは何を考えているのだろう」と思わせる監督でした。今、振り返ってみると時代の流れと共に主流になりつつある「自分たちで考える野球」をすでに実践されていたのだと思います。

また、「野球は楽しくなければならぬ」という考えは、当時まだまだ多くの現場で精神論がささやかれている中では特異であり、足かせとなっていた伝統を廃止し、純粹に野球を上手くなるための練習へと変化させていったことは、3年間私自身が楽しく野球ができただけでなく、指導者の心得として学んだ大切にしている部分です。

青野先生が監督として、平成8年の

夏、ノースードから見事甲子園出場を果たし、平成10年の春、創立100年を祝うかのように春の選抜にも出場した際、私は現役の選手でした。また、平成29年の夏、県立高校にはもう難しいと言われてきた中で21年ぶりの夏の甲子園出場。翌年の春、2季連続で春の選抜大会出場した際、私は指導者の一員でした。青野先生が本校を甲子園へと導かれた時には、選手として、指導者の一員として一緒に喜びを分かち合うことができました。この貴重な経験をこれからの指導に活かし、新チームのスローガンでもある「恩返し(甲子園の舞台で)」を青野先生だけでなく、アルプススタンドを埋め尽くす大応援団の前でできるよう尽力してまいります。

東筑会の皆様におかれましても、引き続き東筑高校野球部のご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。



育成功労賞を受賞される青野監督(甲子園球場)  
(後列右から2人目 青野監督)

# 対小倉高校野球定期戦を終えて

東筑高校応援部 副顧問 柿原 陸都 (115期)



スタンドにはためく応援団旗

令和7年6月4日(水)、第33回東筑・小倉高等学校定期野球大会が北九州市民球場で開催されました。これまでの通算成績は東筑の16勝15敗1分と勝ち越しをしているものの、敗れてしまうと五分に並んでしまうため是非でも勝利を収めたいという強い闘志を持って試合に臨みました。

応援部の視点からレポートを書かせていただきます。試合は初回から東筑が3点を先制し、得点時の応援歌「轟け凱歌」が球場に鳴り響きました。その後も東筑伝統の「コンバットマーチ」や、今年度より新たに導入した東筑オリジナルの「クロスファイア」などでスタンドを盛り上げ、小刻みに追加点をあげていく理想的な展開の下、東筑優位のまま試合を進めていくことができました。

しかし、8回には小倉高校オリジナルの「スピリットマーチ」が鳴り響く

と、小倉打線も次々とつながっていき、3点を失いました。応援の力が本当にあるのかどうか、これは未だに科学的根拠は見つかっていないと言われていますが、しかしあの8回の小倉の攻撃を見ていると、応援の力は存在すると思わざるを得ないような、そんな小倉の粘りでした。

最後は小倉の粘りを跳ね除け、8対3で東筑が勝利を収めました。これで東筑高校が4年連続の勝利となり、通算成績も2つの勝ち越しとなりました。今年度も多くの卒業生の皆様に足を運んでいただき、両校に声援を送っていただきました。初夏とは思えない暑さの中でしたが、選手たちに思いを届けることができたと思います。誠にありがとうございました。



2年連続の勝利(北九州市民球場)





## 文化勲章受章者 「高倉健さん」 没後10年

高倉健さん（東筑48期 本名 小田剛一）といえば、知る人ぞ知る映画俳優として長年にわたり日本映画界の発展に寄与されたスーパースターです。2013年、日本映画界の発展に大きく貢献されたことが評価され、映画俳優として「文化勲章」を受章されました。文化勲章の受章は、東筑同窓にとって唯一無二のことです。



文化勲章受章時の健さん

昨年11月10日は健さんが亡くなられてからちょうど10年にあたり、菩提寺である正覚寺（中間市底井野）で10回忌法要が行われました。映画関係者、県内外のファンや東筑会同窓まで多くの方が参加されていました。健さんの俳優として、人間としての魅力はいまだ健在だなど感じました。

正覚寺は、小田家の墓所です。中庭には健さんの記念碑（実妹の森敏子さんによって建立）があり、座右の銘である「寒青」の二文字が大きく刻印されています。

たものですが、冬の松を表すそうで、三島由紀夫らにも大きな影響を与えたそうです。

健さんのエッセイ「旅の途中」の中にある印象的な部分がありました。

凍てつく風雪の中で、木も草も枯れ果てているのに松だけは青々と生きている。

一生のうち、どんな厳しい中にもあっても、自分は、この松のように、青々と、そして活き活きと人を愛し、信じ、触れ合い、楽しませるようになりたい。

そんな風に生きていきたい……。

とても好きな言葉です。

正覚寺での10回忌法要  
(2024年11月10日)健さん自筆の文字が  
刻印された記念碑

その日の午後は、市内のハーモニーホールにて、映画関係者らを招いて、

「高倉健チャリティー映画鑑賞会」（中間市婦人会主催 木下幸子会長）が開かれました。会場は超満員で、前売券は販売初日のわずか数時間で完売と。健さんの人気の高さを改めて知りました。

さて、前半は、女優の杉田かおるさんの司会によるトークショー。

東宝、東映の会長のほか妹の森敏子さん（東筑51期）、ノンフィクション作家の森 功氏（東筑78期）が招かれ、主演映画9本を撮影して親交の深かった木村大作さんが健さんとの思い出を語りました。驚いたことに、健さんからプレゼントされたジャケットを着て登壇。

トークショー（右から森功氏、2番目が  
森敏子さん）※5人並び映画終了後は、東筑同窓がステージに集合し、記念撮影  
この他にも多勢のOBがかけつけてくれました

木村さんは、「健さんは、どの映画でも高倉健を演じている。彼は、映画で芝居はしていない。自分の感情をそのまま表現している。」ということと話されていました。また、健さんは中国でも人気の俳優であり、当日は福岡の領事館関係者が会場を訪れていたそうです。また、浙江省の3つの都市でも健さんの追悼行事が開かれたという事です。アメリカや中国などでも映画の撮影されている健さんは、日本のグローバルな俳優としての先駆けでもあります。

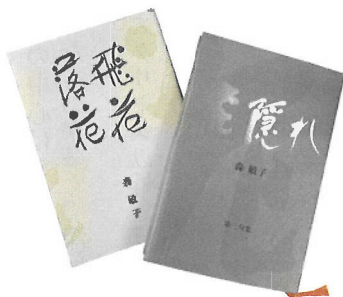
その後、遺作となった映画「あなたへ」が上映され、訪れた人は地元が生んだ名俳優を偲びました。ロビーでも健さんの若かりし頃の写真が展示されており、健さんファンにとって貴重な機会となりました。



また、句集には、健さんから妹あての手紙が紹介されていました。



健さんの実妹の  
森敏子さん  
(東筑51期)



左：健さんの7回忌に合わせて出版された句集「飛花落花」(俳文学の森)

右：健さんの10回忌に合わせて出版された句集「花隠れ」(俳文学の森)

兄に逢いたし夕顔のひらききり  
初夢に聴く若々しき兄の声  
兄追ひて桜のこゑにまよひけり  
盆支度いつしか亡兄へのひとり言  
「寒青」の石碑拭きたる小春かな

終了後は、ステージでの記念撮影。多くの東筑同窓がステージに集まってくれました。健さんと同期生 安部一正氏(93歳)も来られており、後輩である私たちに元気をいただきました。高倉健さん(東筑48期)の3歳下の実妹である俳人 森敏子さん(東筑51期)の兄妹の強く結ばれた話題です。森さんは、「飛花落花」(第二句集)、「花隠れ」(第三句集)という2冊の俳句集の中で、健さんへの思いを詠まれています。(出版社俳文学の森)



健さん創部のE.S.S部  
(右上が健さん)



健さん創部のボクシング部  
(中段右が健さん)



東筑の卒業  
アルバムの健さん

※健さんの高校時代の写真は、同期の花田郁実氏(48期)から提供の卒業アルバムより。

妹よ 自分の人生を愛せよ  
自分の愛する人生を生きよ  
美しく年を重ねよ  
心豊かであれ

兄妹の絆がいかに深いものであったかが伝わってきます。  
高倉健さんは、日本最高の映画俳優として、これからも語り継がれる唯一無二の存在です。  
(会報委員長 青野元昭 70期)

## 映画俳優 高倉 健プロフィール

本名は小田剛一(おだ たけいち)。4人きょうだいの次男(兄と妹2人)元軍人(旧日本海軍)の父と教員の母の次男として1931年2月16日中間市生まれ  
中間市立底井野小学校(小学校3年まで在学)  
旧八幡市香月への転居により旧八幡市立(現北九州市立)池田小学校へ(小学校4〜6年まで在学)  
旧制東筑中学→東筑高校 E.S.Sクラブを創設し英語を学び、また、ボクシング部を創設し活躍  
明治大学商学部卒業  
その後、貿易商を目指して就職活動中に、東映からスカウト  
東映ニューフェイス第2期生として東映に入社し、映画俳優として60年間、全出演作品205本に及ぶ、日本を代表する俳優として活躍  
・1998年紫綬褒章受章  
・2006年文化功労者受章  
・2013年文化勲章受章  
・2014年11月10日逝去(83歳)

## 特別寄稿

### トピックス 没後10年 誰も知らなかった 「高倉健の素顔」

ノンフィクション作家

森 功(78期)



「兄はいつも私のことを心配して電話をくれました。この10年、三回忌ま

では泣いてばかりでしたが、少しずつ笑顔で話せるようになりました。お参りしてくださる方も年々増えているように思います。やっぱり「みんなの健さん」なんですわね。」

東筑高校出身で4歳違いの実妹、森敏子さんが涙ながらに語ったのは、昨年11月10日だった。健さんは本名を小田剛一という。この日、小田家の菩提寺である中間市の正覚寺で没後10年の記念法要が催された。七回忌法要のとさと同じく、北海道から沖縄まで全国の高倉健ファンが集い、東宝の島谷能成会長や東映の多田憲之会長、映画監督の木村大作さんといった映画界の重鎮も駆け付けた。最後は皆で出世作「網走番外地」の主題歌をアカペラで愛唱して故人を偲んだ。没後10年にあたり、それまで分骨されていた遺骨が改めてご遺族の元に届けられ、小田家の墓に納められた。敏子さんは肩をなでおろした。

「これedyやくファンの方々に『お参りする場所はここにありますが』と伝えられることができます。」

法要のあと、中間ハーモニーホールで映画「あなたへ」の上映会やトークショーが開かれ、そこには江利チエミさんのご遺族も招待されていた。イベント後、健さんを慕う東筑卒業生で記念撮影し、OGの敏子さんが嬉しそうに笑顔を浮かべていたことを思い出す。今年5月10日の月命日には、敏子さんがNHKの地元ニュース特番でインタビューに答え、生前の健さんから届いた手紙や電話などを紹介した。

「誰かを支えているという意識から、支えられていると思えるような境地になることは、老いることではなく、成長だと思っています。」



今から20年前、経営していた土産物店を閉店したときに送られた手紙だ。「人生を楽しむよう」という言葉で括られている。そこには家族思いだった健さんの人柄が滲む。

番組では健さんの未発表曲「対馬酒唄」も流れた。健さんはある夜、電話でそれを歌い、敏子さんに聞かせたという。土産物屋を閉めた敏子さんは趣味の俳句の腕を磨き、多くの賞を受けて2冊の句集を上梓するまでになった。作品の中心はやはり兄への思いをつづったものが多く、深い兄妹愛を感じ

る。スクリーン以外、ほとんど私生活の姿を見せなかった稀代の映画スターには、知られざる顔があった。この夏に不帰の客となった長嶋茂雄さんとの交流などもその一つであろう。

高倉健と長嶋茂雄——日本の芸能、スポーツ界の2大スターの縁を結んだのは、久保正雄という人物である。私は拙著『高倉健 隠し続けた七つの顔と「謎の養女」』（講談社文庫）の取材でそれを知って書いたもので、詳しくはそこに譲る。久保は終戦間もなくインドネシアの石油利権において、日本の政界や財界に睨みを利かせた黒幕だ。同じ姓の江利チエミこと久保智恵美を可愛がり、やがて健さんの後ろ盾になる。

そんな日本の黒幕は大のジャイアンツファンとして知られ、ことに長嶋に執心だった。戦後のフィクサーにとつていわば健さんとミスターはまさに別格で、渋谷区高木町の豪邸に二人を招いて泊まらせていたという。

事実、久保邸で撮影された集合写真を見ると、若い両スターの姿がおさまっていたので驚いた。久保家では正

月の初詣に成田山新勝寺に出かけ、そこに二人を連れていっていったという。そうして健さんと長嶋さんは義兄弟のような間柄となる。

東筑出身の高倉健さんは私の30年先輩にあたる。まさにスーパースターだ。



## 森 功氏プロフィール

熊西中学校出身  
岡山大学文学部卒業  
新潮社勤務などを経て2003年よりフリーに。  
2018年、『悪だくみ「加計学園」の悲願を叶えた総理の欺瞞』（文藝春秋）で「大宅壮一メモリアル日本ノンフィクション」大賞を受賞。  
他の著書に『菅義偉の正体』（小学館新書）、「墜落「官邸一強支配」はなぜ崩れたのか」（文藝春秋）、「地面師 他人の土地を売り飛ばす闇の詐欺集団」（講談社文庫）など。

## 各界で活躍する 東筑同窓

多くの東筑同窓が各界で活躍されていますが、今年は6名の方から投稿いただきました。若い世代からの投稿もあり、活気を感じています。

### 東筑からヒマラヤへ

京都大学名誉教授

酒井 治 孝（69期）



調査中ダウラギリ（8167m）をバックに  
2017年11月

高校時代は理化部地学班に所属していましたが、他の部員は天文や気象に関心があり、私だけが地球の歴史、大地の変動を探究する学問、地質学に強い関心がありました。将来は大学の地球科学の研究者になりたいと思っていました。部員はそれぞれ個性の塊のような面々で、ベトナム戦争について語り合い、人生如何に生くべきかを夜遅くまで議論したのは懐かしい思い出です。大学・大学院当時は、「大陸は移動する、海洋底も移動する」ことを実証し、地球科学に革命を起こしたプレートテクトニクスの視点から、日本列島の形成過程を解明するという研究テーマに取り組みました。良い指導教官に恵まれ、試行錯誤しながらも博士論文

の土台を構築することができていました。ある日「青年海外協力隊ネパール派遣隊員募集」のチラシに目が留まりました。そこにはネパールの国立大学の地質学科で講師をやりがら地質調査を行う、という職種の紹介が載っていました。その時、私の内心の声がかえりました。「これだ！自分の進む道は」と。



NHK特集「ヒマラヤ悪魔の谷」とNHK教育「サイエンスZERO」の制作協力（2023年）

その声に従い、1980年にネパールに派遣され、3年間カトマンズの大学で講義と実習を担当しました。それと同時に、電力・水・鉱物資源などの開発と防災の基礎となる地質調査をタセン地域で行い、1800kmの地質図を完成させ技術レポートとしてネパール政府に提出することができました。帰国後、中断していた日本列島の形成に関する研究成果を学会誌に公表し、





地震で倒壊した中学校のベニア板とトタン張の仮校舎（2800m）の前にて  
（2017年11月 筆者前列中央）

論文賞を頂くことができました。その後も幸いなことに大学の研究者として、大陸衝突で誕生したヒマラヤ山脈の形成過程を解明する研究を40年以上に亘って続け、その成果を「ヒマラヤ山脈形成史（東京大学出版会）」として総括することができました。一方、最貧国ネパールを豊かにするためには人材育成が鍵を握っていると確信し、日本への留学・研修の支援、地方の学校校舎7棟の建設、理科実験室や教育用コンピュータの整備、奨学金の支給等々の活動をやってきました。今

後もヒマラヤの研究を続けながら、教育支援活動を継続して行くつもりです。

### 酒井 治孝氏プロフィール

明治学園中学校出身  
九州大学大学院理学研究科博士課程、理学博士  
職歴…

1980・83…ネパールの国立大学地質学教室で講師として教育と地質調査に従事（日本青年海外協力隊員）、1985・87…日本学術振興会特別研究員、1987・89…宇都宮大学教養部講師、1989・2007…九州大学大学院比較社会文化研究院、助教授・教授、2007・2018…京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻で教授を歴任、現在、京都大学名誉教授、ネパール地質学会海外名誉会員受賞…

日本地質学会から3回論文賞（1990、1996、2024）と小藤賞（1989）を受賞  
日本山岳会から秩父宮記念山岳賞（2024）を受賞  
TV番組制作協力…

NHK TV「地球大紀行…巨大山脈の誕生」、「ヒマラヤ、悪魔の谷」、「プータン…幸福の大絶壁」、TV朝日「チョモランマの渚」など10本以上の番組制作に協力・出演  
主な著書…

「ヒマラヤの渚」

（1995年、近代文芸社）

「ヒマラヤの自然誌」

（1997年、東海大学出版会）

「地球学入門」

（2003年、東海大学出版会）

「ネパールに学校をつくる」

（2015年、東海大学出版会）

「新装版 地球学入門」

（2021年、東海教育研究所）

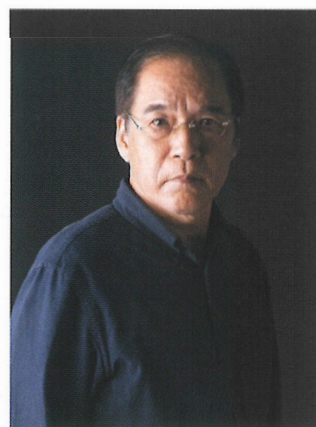
「ヒマラヤ山脈形成史」

（2023年、東京大学出版会）

### 古希ですが

俳優

美和 哲三（71期）



筆者近影

古希を迎えました。

古希とは杜甫の詩の一節「人生70古来稀なり」に由来するそうですが、平均寿命が男性81歳、女性87歳の現在では、「稀」とは言い難くなっています。たようです。（ちなみに私たちが生まれた頃は、男性63歳、女性67歳でした）私は、大学を中退して演劇の道に進み、舞台やTVからスタートしたのですが、様々な縁で、作劇や雑技団の招聘、テーマパークのショーの演出なども行ってきました。そんな私にとって体は資本。なのに2019年秋、突然意識を失い、救急車で病院に担ぎ込まれたのです。髄膜炎でした。当初は意識もなく、退院後は歩行もままならず、ちょうどコロナが蔓延していた時期でしたが、人並みの体に戻すための辛い日々が続きました。

そんな私が昨年、一念発起、富士山に登頂しました。登山が趣味だったわけではないのですが、登らねばと思ったのです。69歳にして初の富士登山は、なかなかハードでしたが、素晴らしい感動を与えてくれました。



初舞台の「薔薇と棺桶」の舞台写真  
（1980年 右端）

私は演劇とその周辺の事柄を通して、いろんな出会いをし、いろんな体験をしてきました。撮影で行った電気も水

### 美和 哲三氏プロフィール

折尾中学校出身・九州大学文学部中退・文学座附属演劇研究所卒  
○「薔薇と棺桶」（劇団昂 東京紀伊国屋ホール 1980年）にて初舞台  
○「母の旅路」（名古屋CBC 1981年）にてTVデビュー  
○「Dr. クラナガン」（FBS九州ブロッコネット 1994・1999年）で2000本以上のシナリオ執筆  
○「千年の街のX, mas」（ハウステンボス 米国・オランダ・ルーマニア・日本人キャストにて2001年）ショーの作・演出  
○朗読オペラ「セロ弾きのゴーシュ」ドイト・盛岡・福岡にて2002年・現在 朗読  
○FM福岡ラジオドラマ「鉄の河童」（作・演出・出演 2014年）で文化庁芸術祭賞ラジオドラマ部門大賞受賞



道もない中国の村での1か月の暮らしや、米国の同時多発テロの日に、某テーマパークのキャストのオーディションで滞在していた旧ユーゴスラビアで、現地の人々の喜びに沸く姿に衝撃を受けて(かつてNATO軍に空爆されていたからなのですが)等々、忘れ難い思い出が数々あります。しかし、富士山登頂は、そんな思い出としてだけでなく、まだまだやれる、やらねば、と僕に思わせてくれました。

今年も舞台を1本やり、ドラマやCMの撮影も行い、もうすぐ小倉昭和館での朗読公演もあります。北九州ということで、東筑の仲間も観に来て

くれます。その日は皆で酒を酌み交わす予定です。古希でもまだまだいろんな体験が出来る！



「筑紫源氏」  
(富山の演劇フェスティバル)  
舞台写真(2008年)

これからも演劇とその周辺に関わり続け、いろんな忘れられない景色を見ていきたいと思っています。

## ● 専業主婦から起業

### 「遅咲きの『わらしべ」

### キャリア」で一歩一歩

合同会社ふじこカンパニー代表  
キャリアコンサルタント

藤 重 知 子 (84期)



筆者近影

「本日はご来店いただきまして誠にありがとうございます。エスカレーターにお乗りの際は…」私の仕事の一つ

に、ナレーションという声の仕事があります。ただ、元々アナウンサーだったわけではなく、20代はどっぷり専業主婦でした。大学卒業と同時に結婚。30歳を過ぎて子育てのために移り住んだ岡垣町で「語り部講座」を受講し、昔話をステージ上演していたところ「町の成人式の司会をしないか」と言われたことが仕事のきっかけでした。「私でよかったら」と取り組んでいるうちに司会者になり、その後、岡垣放送でキャスターをしないかと。「私でよかったら」と地域情報番組に関わる中で、もっとアナウンスの勉強をしなければと福岡市内のアナウンススクールに通いました。そうしたら「スクールで教えてみないか」「専門学校で教えてみないか」と。

特別なスキルや経験があったわけではありません。「これやってみない?」「私でよかったら」と繰り返し返してきたのですが、私はこの積み重ねを昔話「わらしべ長者」をヒントに「わらしべ

キャリア」と呼んでいます。一つ何かをすると違う話がやってきて、その経験が新しいキャリアになっていく。最初は小さなスキルや経験でも、それを丁寧に活かし、少しずつ価値を高めていくことで、想像もしなかった未来が拓けていく。東筑の同級生や先輩後輩からもたくさんの機会をいただきました。出会いが自分を育ててくれました。



経営者向けの講演



オリジナル「ふじこのど餡」

40代前半で大学院進学、40代後半で国家資格キャリアコンサルタントを取得しフリーランス講師として独立。54歳で「合同会社ふじこカンパニー」を設立し、現在は声・話し方・コミュニケーション、キャリアデザインをテーマに、企業研修や講演、大学講師とし

て人や組織の成長に関わっています。人生は何歳からでも、どんな場所からでも始められる。そんな想いを胸に、これからも一歩一歩、目の前の出会いや機会を大切に歩み続けたいと思っています。



ナレーションのスタジオにて

### 藤重 知子氏プロフィール

- ・ 永大丸中学校出身
- ・ 福岡教育大学1990年3月卒業
- ・ 福岡教育大学大学院 修士課程2013年3月修了
- ・ 国家資格キャリアコンサルタント2016年4月取得
- 専業主婦から地域情報番組キャスター、ナレーターを経て、講師として独立。声と話し方研修、コミュニケーション研修、接遇研修などを延べ2万人以上に実施。ワークを組み合わせた論理的且つアツク実践的な研修で、個人の成長と組織の活性化に取り組んでいる。
- プライベートでは父の介護、娘の里帰り出産などで四世代同居も経験。好きな言葉は「和顔愛語」。
- 趣味は歌うこと。「還暦ライブ」をするのが夢のひとつ。

<https://www.fujishigetomoko.com/>



## ●ピアノと共に歩む

ピアノリスト

矢持 真希子 (94期)



筆者近影

ピアノとの出会いは5歳。母の友人の家のピアノで何時間も遊ぶ私に両親が買ってくれました。母の夢はピアノのある家に住むこと。母は子供の頃、祖母が描いた鍵盤の絵で練習していたそうです。家で嬉しそうにピアノを弾く母の姿は今も私を導いてくれます。

高校時代、反抗期の最中にいた私は、説得というよりは私の悪態に両親が根負けする形でお茶の水女子大学音楽科に現役合格という条件で、音楽での進学の道を得ました。しかし程なく、好きなことを専門職にする重さに向き合うことになりました。そして、ピアノと共にいることが当然であった私は初めてピアノと向き合う必要に気付きました。どうしてピアノが好きなのか。どうして弾きたいのか。その問いに向き合い、答えを求め続けることが「ピアノと共に歩む」ことだと思っています。

ソロのピアノ音楽には二つの特徴があります。一つは言語を伴わない世界共通の言葉であること、もう一つは孤独と対峙する世界であることです。私は、

作曲家が時代を越え、国境を越え残してくれた手紙を読むように弾き継ぐ駒になりたいと思うようになりました。苦境下で言語化できない想いを抱える時こそ、音楽に救われ、励まされます。

ひびきホールでのコンサート  
2021年8月5日ウェルとばたピアノリサイタル  
2025年4月26日

## ●矢持 真希子氏プロフィール

本城中学校出身  
お茶の水女子大学文教育学部芸術表現行動学科卒業、同大学大学院人間文化研究科人文学専攻音楽表現学修士。

ポーランドにて研鑽を積む。ポーランド・クラクフ室内管弦楽団、SEIN室内オーケストラと協演。東京、北九州にて隔年でピアノソロリサイタルを開催。ピアノソロ活動とともに、オペラ公演における音楽スタッフ、サロントーケストラのピアニスト等を務め、後進の指導にもあたっている。チェコ音楽コンクール全音賞等。北九州音楽協会会員。

「苦しみと悲しみの果てには、そこで穏やかな微笑みが生まれる境界がある」恩師に頂いた言葉です。喜びも悲しみも、私たちに与えられた全ての想いと真摯に向き合い表現すべく、これからも努力していこうと思います。

## ●リアルタイムで

世界と対話せよ！

英語力革命の最前線に立つ

株式会社ギャビーアカデミー  
代表取締役

ホール 奈穂子 (94期)



筆者近影：チャムサーモンを釣り上げる著者

「AI 翻訳があれば英語習得は不要？」

そんな声に私は答えます。「グローバルビジネスの勝負は、デバイスなしに直接話す人に全部持っていくかれます。」

私は今、カナダ・バンクーバーと日本を行き来しながら、グローバルに活躍する日本人ビジネスパーソンを育成

する会社を経営しています。東京大学との共同研究で開発した脳科学ベースの英語習得メソッドにAIと英語ネイティブプロ講師からのコーチングを融合させた「Gabby」というプログラムを通じて、日本企業の未来を支える人材を育てています。

佐賀の中高一貫校でカナダ人社員と  
新しい英語習得法を紹介

Gabbyのミッションは、「海を越えて通用するリアルタイムでの対話力」を鍛えること。グローバルビジネスの最前線では、文化や言語の壁を越え、即興ジャズセッションのように意見を交わし、共に新しい価値を創造する瞬発力が求められます。これはどんな高性能のAIでも再現できない、人間同士の熱い交流です。

27歳で英語学習を再開し、何度も壁にぶつかった私自身の経験から、Gabbyは「脳の使い方」に着目。膨大な音声課題で脳を鍛え、英語思考回路を条件反射的に構築します。トッポアスリートが肉体を鍛えるように、脳を鍛えることで、どんな状況でも自



分の言葉で考え、表現できる真の英語力が身につくのです。



鮭が遡る  
ブリティッシュコロンビア州の川

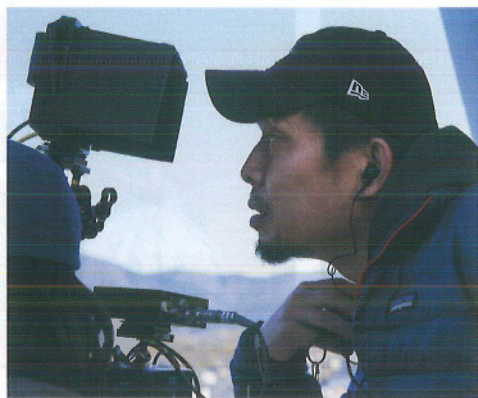
また、十年以上にわたる海外生活を通して痛感したのは、グローバルコミュニケーションでは常に明確な立場表明を求められること。「私は何を望み、どう考えているのか」を瞬時に示す必要があります。相手と意見が違ってもそれは活発な議論の出発点。多様な価値観がぶつかり合うことで生まれるエネルギーを信じ、心を開いて自分の意思を力強く表現していく能力。これが、グローバルな舞台で真に活躍するための必須条件だと確信しています。

カナダの雄大な自然に癒されながら、私は今日も「世界を舞台に活躍する日本人を増やす」という夢に向かって走り続けています。皆さんもそれぞれの場所、自分らしい花を咲かせていることでしょう。いつかまた、同窓会で再会し、互いの挑戦を語り合える日を楽しみにしています！

## 縁の縦糸

映画監督・脚本家

大庭 功 睦 (95期)



映画『滑走路』撮影時にモニター越しに演技を見詰める筆者。

もう四半世紀以上も前になるが、僕が現役の東筑生だった時分にはそこかしこにレンタルビデオ店が立ち並び、勉強も部活も下のだった僕はそれらショップの店頭から気になるタイトル

をピックアップする事だけに青春を捧げていました。

『バートン・フィンク』『時計じかけのオレンジ』『パルプ・フィクション』……洗練された毒気に満ちた作品群は日本の片田舎に住む青臭い青年の自意識を挑発的に刺激し、一端の映画青年を気取るようになった僕は、そのまま後戻りできずに今は東京で映画を作る仕事をしています。



来年リリースされるNetflixのドラマシリーズを演出中の筆者。

皆さんに紹介出来る最近の仕事としては、今年4月にNetflixでリリースされた『新幹線大爆破』の脚本を担当しました。僕が『シン・ゴジラ』の演出助手を務めた際に知遇を得た佐藤善宏プロデューサーの計らいによるものです(ちなみに、この佐藤善宏さんは地元岡垣町の一学年上で岡垣中学校卒)。

『新幹線大爆破』は、ご存じの方も多いと思いますが、そのオリジナルとなっているのが1975年公開の東映製作による『新幹線大爆破』で、その主演は我が母校のレジェンド、高倉健さんです。高倉さんが主演した映画の脚本を、半世紀を経て同窓後輩の僕がリライトする……「東筑」という縦糸で編まれた縁のダイナミックさに深く感じ入っているとこです。

筆者が脚本を担当したNetflix『新幹線大爆破』のポスター



オリジナルは1975年に高倉健さんが主演した『新幹線大爆破』

## ホール 奈穂子氏プロフィール

上津役中学校出身  
2000年3月 岡山大学総合農業科学科 卒業  
2000年4月 九州大学文部科学技官(農学)  
2008年8月 九州大学職員(大学事務職員へ内部転職)  
2012年4月 九州大学米国カリフォルニアオフィス赴任  
2016年6月 九州大学退職  
2017年4月 カナダへ移住・ギャビリアアカデミーの前身となるカナダ法人設置  
2020年2月 株式会社ギャビリアアカデミー設置、代表取締役就任

## 大庭 功睦氏プロフィール

岡垣中学校出身。  
熊本大学文学部を卒業し、日本映画学校にて映画制作を学ぶ。  
以降、フリーランスの演出助手として『容疑者Xの献身』や『シン・ゴジラ』『シン・エヴァンゲリオン劇場版』などの制作に携わる。  
数本の自主製作を経て、映画『滑走路』にて商業監督デビューを果たす。  
近作として、脚本を担当したNetflix『新幹線大爆破』や、第4話の監督を担当した『ガンニバル season2』などがある。



その縁に手繰り寄せられるようにして、僕は来年度当番期の実行委員長を勤めることになりました。先日の懇親会では、地元福岡で脈動する母校の繋がり、深さに改めて瞠目させられました。「来年の懇親会もまたひとつの作品」そういった心持ちで、先輩

方、後輩方が楽しみに集えるような懇親会の準備を進めていきます。  
来年、その「作品」を是非、ご覧いただきたいと思っております。皆さんとお会い出来るのを楽しみにしております。

## 部活動OB会 だより

東筑には現在、様々な部活動がありますが、活発に活動されている部活動のOB会も多くあります。そのようなOB会からの投稿を紹介していきます。

### 吹奏楽部OB会

今年も東海（4月）、関西（5月）、北九州（6月）で開催された東筑会懇親会にて、校歌の生演奏をさせていただきました。特に北九州での総会懇親会では、69期から95期までの幅広い年代の15名の演奏者が全国各地より集まりました。また、陣中見舞いのOBの方々もおられ、演奏を楽しみただけでなく、世代を超えた親睦を深める貴重な機会となりました。毎年、演奏の機会を設けてくださる当番期の皆さまに、心より感謝申し上げます。

さて、6月の総会が終わり、7月に入ると現役吹奏楽部はコンクールに向けて練習が佳境を迎えます。同時に夏の高校野球予選も始まりますが、コンクール準備のため、現役生が応援に行

けない日もあります。こうした場面で頼りになるのがOBですが、社会人にとっては平日の試合や急な順延に対応するのが難しいのが現状です。

そこで今年は、練習日程・試合日程・予備日を照らし合わせ、7月の予定を予測したうえで、出欠確認アプリに事前登録してもらう試みを始めました。残念ながら野球部が早期に敗退したため活用は限定的でしたが、学校との連携強化や若いOBの参加促進など、今後に繋がる成果が得られたと感じています。

最後に、OB会ではFacebookで情報を発信・交換しています。グループ「東筑プラス」で検索し、ぜひご参加ください。多くのOBの皆さまの参加をお待ちしております。

事務局長 古賀誠治（82期）記



東海東筑会 校歌演奏メンバー  
(令和7年4月19日)



東筑会総会・懇親会 校歌演奏メンバー(令和7年6月7日)



関西東筑会 校歌演奏メンバー(令和7年5月18日)

### 剣道部OB会

剣道部OB会は、400名以上の会員があり、毎年1月3日に初稽古・総会・懇親会を行っています。年始の忙しい時期ですが、毎年多くの先輩方が全国各地から帰省され、現役生やOB同志の親睦を深めています。年齢層は幅広いですが、剣道部の仲間として、夜遅くまで盛り上がりつづいています。社会人になり剣道をしている人が少ない中、一つの共通点があるだけでいろんな業界の方と話が出来る、こんなに盛り上がるんだといつも感謝し、運営に携わっていることに誇りを感じています。



令和7年1月3日 剣道場での初稽古

私は、祖父の代から受け継いでいる少年剣道場を営んでいます。銀行に勤務しながら子供達に剣道を指導しております。日々葛藤しながら仕事と稽古に臨んでいます。10年前に父が他界し、当時剣道から足が遠のいていましたが、道場を受け継ぎ剣道を再開しました。剣道を再開することを「リバケン」と言います。剣道の理念は、剣の理法の修練による人間形成の道である。目的



は、人間形成ですが、弱い自分を律することの難しさや、子どもたちに指導した言葉がそのままブーメランのように心に突き刺さってきます。私にとって東筑高校の剣道部は、普段の自分に戻れる場所であると思っています。

剣道部の先輩方！令和8年の初稽古には是非顔を出して下さい！「リバケン」も大歓迎です！現役生とOB会を盛り上げていきましょう！令和8年1月3日(土)剣道場でお待ちしております。

事務局長 松野智明(101期) 記

## ラグビー部OB会

今年度も第2回の東筑・小倉高校ラグビー部定期戦を4月27日本城陸上運動場にて開催しました。前半は小倉ペース、小倉バックスに翻弄され、あつという間に0対10と広がりました。しかし、東筑の諦めない前に出るタックルで、1トライを返し、前半は7対10小倉リードで終了。後半に入り、東筑の勢いがさらに増し、気迫のタックルを連発。そこから3トライを奪い逆転。その後も両校シーソーゲームの展開に手に汗握る。残り3分に小倉にトライを取られるも26対24で、昨年に引き続き東筑の勝利でノーサイド。

ひたむきに前に出る東筑のプレーススタイルに、学校関係者、OB、保護者も皆感動し、今年も東筑勝利で終わることができました。ゲーム終了後、ラグビーには欠かせないアフターマッチファンクションを今年度も開催し、両校生徒達同士で楽しく交流が行われ、両校のキャプテンの挨拶の後、両校校歌を斉唱し今年度の定期戦を終えるこ

とができました。来年は小倉高校主催での開催となりますが、引き続き来年も応援をよろしく願います。



気迫のこもったタックルで、主導権を握る



協賛ジャージ奇贈式



118期吉村さんを現役生がミクスで応援

またその他にOB会企業、地元北九州のラグビー部OBより多大な協賛金を頂き、ジャージを寄贈させていただきました。更に、ウエイト器具も寄贈することができ、ラグビー部の課題であったフィジカルトレーニング環境を

さらに整える事もできました。このような形で現役支援を行うことができ、協賛頂いた先輩方には厚く御礼申し上げます。

またOB会現役選手の活躍としましては、116期の中野将吾君も日本代表に復帰し、地元北九州にて開催されたウエルズ代表で先発出場し、見事勝利に貢献しました。

118期吉村乙華さんは、8月から開催された女子ラグビーワールドカップ2025イングランド大会メンバーに選出されました！LO先発メンバーとして大いに活躍、1勝2敗で予選敗退となりましたが、献身的にタックルに行く姿勢がとても印象的でした。今後も両名の日本代表としての活躍に期待したいと思います。

OB会会長 岩男 剛(86期) 記

## 野球部OB会

### マスターズ甲子園大会に初参加

東筑高校野球部OB会は、今年初めて「第21回マスターズ甲子園大会(第1回大会2004年開催)」に挑戦をしました。この大会は、野球への情熱を再び燃やしたいという思いを持つ高校野球部OBたちがチームを組み、甲子園球場で試合を行うもので、参加者のかつて高校野球で経験した選手たちです。

OB会では、80人ほどが選手登録を行い、事前練習や福岡県大会予選に臨みました。高校時代の体型とは幾分変わってしまったOBもいましたが、試合では、全選手が気迫あふれるプレーを見せ、大いに盛り上がりました。参

加したOBの顔には笑顔が溢れ、真剣勝負そのものにあっても楽しい雰囲気、が満ちあふれていました。

結果ですが、一次予選では久留米商業高校OB、嘉穂高校OBに勝利し、準決勝に進出しました。本原稿の提出締め切りの関係で準決勝以降の結果をお伝えできませんが、いずれにしても20代から60代のOBが集い、青春を再び肌で感じたことは、OB会活動としてとても意義があったと思います。

11月のマスターズ甲子園大会には、全国の都道府県代表が集います。OB会メンバーが【聖地】で躍動する姿を想像し、ひとまずペンを書きたいと思っています。結果等についてはホームページをご覧ください。

(tochiku-baseball-ob.com)

顧問 太田清治(77期) 記

## 各地区東筑会だより

### 東京東筑会

東京東筑会の令和7年度活動について4大イベントを中心に報告いたします。4大イベントは、例年、春夏秋冬のシーズン単位で開催しております。

春のイベントは、6月1日(日)に「新人歓迎BBQ大会」を開催いたしました。新社会人、大学生など、若い世代を迎えるイベントで、毎年約100名に参加いただいております。若い世代の皆さんは東京東筑会との最初の接点であり、先輩との会話が、良い刺激になったと思います。

夏のイベントは、この会報が発行され





「東京東筑会新人BBQ大会」都立葛西臨海公園  
バーベキュー会場(2025年6月1日)

る頃には実施されている予定ですが、8月7日(木)に「東筑みらいクエスト」で東京へ来られた現役東筑高校生を招き「現役高校生研修激励会」を開催いたします。現役東筑生が自分自身の興味のあつた職業に就いている先輩と直接に話をする機会に接することで、将来の目標に近づく機会になればと思います。

秋のイベントは、11月8日(土)に「東京東筑会懇親会」を開催する予定です。全世代が参加者となる懇親会であり、毎回、校長並びに恩師の皆様にも参加頂いております。久しぶり、初めて、でも気兼ねなく参加できるように、当番期(今年は94期)が様々な趣向を凝らし、学生時代の思い出を語り合い、新しい友情を育む機会となっております。

冬のイベントは、11月30日(日)の東京福岡県人会主催の『就活を応援する会』です。東筑高校だけでなく福岡県内を卒業した学生を対象とした会で、各企業に勤務されている先輩からの経験談や生きた情報を聞き、質疑応答を通して就職についての知識や視野を広げて頂く機会に、当会は実行委員会メンバーとして参加しております。

4大イベントに加えて、社会で活躍する東筑卒業生を講師として囲み、語らい合う「何でん語らん会」を年3回、東筑女子会を年2回、懇親会当番期を控えた若手を対象にした合同懇親会、地域・職域・最寄駅でのタテヨコナメのスポーツ東筑会開催、同好会の新規創設支援などを予定しております。

また、会員増加のために、会員登録ツール改修、QRコードを活用した年会費支払など、利便性の向上を図ることで、会員のコミュニケーションの拡大に向けた活動を展開しております。

東京地区における、東筑卒業生、並びに福岡県内の高校同窓会との懇親も深めることで、会の活性化に努めてまいります。

事務局長 馬場崎靖 (81期) 記

## 東海東筑会

東海東筑会の令和7年の活動を報告いたします。

令和7年4月19日(土)に名古屋市の「ルブラ王山」にて、第38回東海東筑会総会・懇親会を開催いたしました。東筑会の原田美穂副会長を始め、本部当番期94期4名を含む56期から120期まで、幅広い世代の26名の参加者が集い、親交を深めました。そのうち初参加は7名でした。東海地区在住の方だけで

なく、地元北九州・関東・関西からもご参加いただき、東筑の絆の深さをあらためて感じた次第です。懇親会では、昨年より恒例となりました、一人一人近況報告を兼ねた自己紹介の時間を設けました。質問も飛び交い、時間がかなり押ししまいましたが、笑顔あふれる楽しい時間となりました。懇親会の締めはもちろん校歌斉唱で、今回は東及び関西からかけつけて下さった吹奏楽部OB OGと私の3名の演奏に合わせて、皆で楽しく歌いました。地元から遠く離れていても、こうして同窓生が一堂に会することができる喜びを感じたひとときとなりました。



第28回総会・懇親会に集う面々「ルブラ王山」(令和7年4月19日)

合により中止となりましたが、令和7

年度はあと2回イベントを開催予定です。新しい会員も加わりましたので、各イベントを通して会員同士の交流を深め、さらなる活性化に努めてまいります。

東筑会のますますの発展を祈念しております。

事務局 服部悦子 (85期) 記

## 関西東筑会

関西東筑会では支部企画を積極的に開催しています。昨年度は大阪北支部、京都支部、兵庫支部の3企画を開催することができました。ここでは、大阪北支部企画「インスタントラーメン発祥の地大阪池田で、インスタントラーメン発明の原点を体験」をご紹介します。



チキンラーメンの手作り体験後、参加者全員で  
(令和6年9月14日)

2024年9月14日(土)総勢20名でカップヌードルミュージアムへ行きました。当日は35度にもなる猛暑でした



が、冷房の効いたカップヌードルミュージアムに到着するとホッと一息です。

まず、スタッフの方から館内の説明を聞いた上で館内を回りました。インスタントラーメンの歴史や懐かしいカップヌードルの自動販売機、過去からのインスタントラーメンのラインナップが飾られているインスタントラーメン・トンネルやカップヌードルドラマシアター等を見学しました。

次はお待ちかねのチキンラーメン手作り体験です。2人1組のペアで体験のスタートです。スタッフの方の丁寧な説明を受けながら作業を進めます。小麦粉をこね、麺棒で伸ばしていくのですが、結構力のいる作業で苦労しました。次に製麺機を使って何回も少しずつ伸ばしていきます。だんだんと生地が滑らかになっていくのを感じながら作業を進めます。麺を同じ長さに切り出し、蒸した後に味付けをします。てきぱきと10秒で麺をほぐしながら味をなじませたと「瞬間油熱乾燥法」という製法で揚げます。事前に各自でデザインした袋に詰めてもらい、オリジナルチキンラーメンの完成です。

その後はがんこ池田石橋苑での懇親会です。庭園のある古民家を改装したお座敷でお庭を見ながら大いに親睦を深めることが出来ました。

事務局長 河部伸治 (86期) 記

## 広島東筑会

2025年1月25日に第39回広島東筑会を、いつもお世話になっている広島ガーデンプレスにて開催しました。来賓として、深田東筑会会長と藤本副校長をお迎えし、当番期94期や県外か

らの参加者も含め19名の方々に足を運んでいただきました。

今回、39(サンキュー)にちなんで、東筑時代の恩師や友人などへの感謝をテーマにした色紙トークを行いました。毎年恒例の高信二(84期)カープ二軍監督によるカープアワーやミュージックアワー、それ行けカープと校歌の大合唱など、いつもながらの広島東筑会ならではのアットホームな会が続けております。コロナ禍を経て、福岡県外の地区同窓会の一つとして続けられているのは、広島在住の有無を問わず、これまで会を支えてくださった全ての皆様のお陰であると思っております。次回も、記念となる40回目を迎えます。広島在住の方は勿論、広島県外在住の方にも、同窓の交流の場として楽しんでいただけるよう、引き続き頑張ってください。

会長 田中健路 (90期) 記



1月25日 広島ガーデンプレスにて

## ふくおか東筑会

令和7年5月24日、福岡市博多区の八仙閣本店において、ふくおか東筑会総会・懇親会を開催しました。昨年に続き、多くの同窓生にご参加いただき、盛況のうちに開催することができました。



ふくおか東筑会 令和7年度総会・懇親会に参加の同窓生  
八仙閣本店(令和7年5月24日)

総会では、2024年度活動報告、2025年度活動方針、会計報告等について説明が行われ、承認されました。令和7年の新しい企画として同窓生PRの時間を設け、2名の同窓生に自身

の活動紹介をしていただきました。

引き続き開催された懇親会では、安田賢二校長・佐竹真人東筑会副会長よりご挨拶を賜り、富増春樹前事務局長による乾杯のご発声により始まった歓談は、同窓生同士の親睦を深める貴重な機会となりました。

懇親会においても、2名の同窓生による活動紹介と仲間募集を行い、参加者の皆様に新たな交流の機会を提供いたしました。また、今年も「東筑クイズ」を実施し、母校に関する知識を競い合いながら、参加者の皆様に楽しんでいただきました。クイズを通じて会場全体が一体感に包まれ、大いに盛り上がりしました。

最後は、校歌斉唱・参加者全員での記念撮影を行い、藤原健一博多祇園山笠恵比須流元相談役による博多手一本で締め切りました。

今回の総会・懇親会も、多くの同窓生のご参加により成功裏に終了することができました。新企画である同窓生PRも好評を博し、盛会となりました。今後とも、ふくおか東筑会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

事務局長 岩熊豊和 (80期) 記

## 芦屋東筑会

令和6年10月19日(土)、マリントラスあしやで5年ぶりとなる芦屋東筑会総会懇親会を開催、38名が出席されました。また、小川校長、深田東筑会会長をはじめ、地域東筑会の方々にご臨席賜り、当番期(94期)の安川会長を含む4名が受付など運営のお手伝いをしてくださいました。

総会では、中西一美会長(67期)以下の新執行体制が承認され、あらため



て新芦屋東筑会のスタートとなりました。

懇親会では、久しぶりに会う旧友も多い中で話は尽きず、笑顔と笑い声の絶えない楽しいひとときとなりました。「また、来年も。」と再会を約束し、終宴となりました。

芦屋東筑会では、今年も10月18日(土)に総会懇親会を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

事務局長 新開晴浩 (86期) 記



令和6年10月19日(土) マリンテラスあしやにて  
総会で議長を務めるのは井上弘行副会長(72期)

## 岡垣東筑会

創立五十周年。当会は、お陰様で、本年度、記念の年を迎えました。

これまで当会の発展にご理解・ご協力いただきました、東筑高等学校・本部東筑会・各地域東筑会等関係組織の皆様、当会の先輩会員・現役会員の皆様に、心より感謝申し上げます。

さて、本年4月19日(土)に「野々庵」にて総会・懇親会を開催しました。当

日は、東筑高等学校の安田賢二校長・長野裕二副校長を始め、本部東筑会の深田高一会長並びに近隣東筑会会長等の方々9名にご臨席をたまわり、当番期5名の皆様と会員を合わせ、総計68名の参加を得ることができました。



柴田幸嗣氏のご講演「野々庵」  
(2025年4月19日)

総会では、議事終了後、「岡垣東筑会創立五十周年記念講演」と銘打ち、「マスコミ生活46年 取って置きのお宝話」と題し、柴田幸嗣氏(67期・岡垣在住)に、ご講演を賜りました。

柴田氏は、岡垣中学校・東筑高等学校・明治大学時代を通して野球で大活躍され、スポーツニッポン新聞社東京本社に入社、その後、社内的重要を担われるとともに、スポーツ界や芸能界の高名な方々との親交を重ねられました。ご講演では、仰木彬氏・星野仙一氏・長嶋茂雄氏・阿久悠氏・綾瀬はるか様等とのエピソードを楽しく語っていただきました。

懇親会では、終始和やかな雰囲気時間が流れて親睦が深まりました。最後に合唱した校歌で、同窓の結束が更

に強化されたことと存じます。

会長 筒井信秋(70期) 記

## 中間東筑会

令和7年4月26日(土)に中間ハーモニーホールにて『令和7年度・中間東筑会総会・懇親会』を開催いたしました。



100名を超える参加者で賑う中間ハーモニーホール  
(令和7年4月26日)

前回(2年前)の総会はコロナ感染症が第5類への移行する直前であったため、学校関係者や同窓会関係者などのご来賓をお招きしない形での開催でしたが、今回は東筑会の深田会長、東筑高校の安田校長先生、近隣東筑会からも多くのご来賓にお越しいただき盛大に開催することができました。

今回の総会では役員の改選が行われ、これまで長きにわたり会長職を務めていただいた船津革新先輩(63期)が退任

され相談役に、そして船津喜久男先輩(79期)が新会長に就任することとなりました。船津新会長のもと、新役員一同、今後さらなる会の発展に貢献していく所存です。



船津喜久男(79期)新会長のスピーチ

懇親会には総勢100名を超えるご来賓、会員にお越しいただき、コロナ禍の空白を埋めるように大盛況のもと開催されました。当番期である94期の方々にも多大なるご協力をいただき、スムーズに会を進行することができました。ありがとうございました。

中間東筑会の総会は2年に一度の開催のため、次回は令和9年度になります。またその時に皆様と元氣にお会いできるように楽しみにしております。

事務局 八木秀和(96期) 記

## フレンドリー鞍手町東筑会

### コンパクト総会・懇親会

本年5月10日、フレンドリー鞍手町東筑会では地元町内の会場で総会・懇親会を開きました。集まったのは23名



で、会員だけによる小さな会です。総会の方は20分あまりで済ませ、懇親会中心の集まりでした。久しぶりに顔を合わせての食事会、和やかなひとときを過ごすことが出来ました。



鞍手町「竜馬」にて(令和7年5月10日)

今回は今までにない顔ぶれが何人か加わり、新鮮でした。集まった方々はほとんど現役を退いておられますが、第二、第三の活動の場を見つけて日々過ごしておられる方が多く、毎日が日曜日となった日々をどう過ごすのか、いろいろと参考になるお話を聞くことが出来ました。このように気軽に話ができるのも、今はない室木線を共に使っている通学したという、どこか気心が知れている安心感のせいでしょう。また、この集まりの常連の皆さんにとって、年に2回、新年会とこの総会・懇

親会は、近況報告とお互いの元気を確かめるよい機会となっているようです。鞍手町東筑会の会員数は100名を下回り、会員の高齢化が進んで来ます。少しでも若い世代の方々に声掛けして参加いただき、これからもこの会を続けて行ければと願っています。

事務局長 梶栗浩二(69期) 記

### 北九州くきのうみ東筑会

#### 第33回総会・懇親会にむけて

当会は、毎年11月に総会・懇親会を開催しております。

昨年度は、八幡西区のアートクラブにて開催をしました。実に4年振りの開催となり、至らない点も多くご迷惑をおかけしましたが、開催出来て本当に良かったと思います。恒例の東筑エールでは、甲木正子(81期)さん、吉住亮(94期)さんを講師に、社会投資の実践による社会活動をしているソシオ(イタリア語で共生、仲間)ファンドの活動についてディスカッションをしていただきました。また新たな試みとして、ボウリング大会を折尾スターレーンにて実施しました。

さて今年は、11月15日(土)アートクラブ(八幡西区瀬板2-4-17)にて開催をします。東筑エールはお休みして、北九州市立松本清張記念館館長古賀厚志(78期)さんに特別講演をお願いしています。もちろん、ボウリング大会も企画しています。当日に、皆様方とお会いできることを楽しみにしております。

今後とも、皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

事務局 伊藤泰昭(88期) 記

### 水巻東筑会

#### 今年の水巻東筑会

令和7年5月10日水巻東筑会総会・懇親会を水巻町商工会にて開催しました。

開催を楽しみに待っていた会員に多数のご参加をいただき、最後は当番期安川会長音頭のもと校歌を全員で歌い、盛況で終えることができました。

事務局長 友廣大祐(90期) 記



水巻東筑会総会懇親会 水巻商工会館にて(令和7年5月10日)

### 宗像東筑会

令和7年度の宗像東筑会総会・懇親会を4月12日(土)に福津市勝浦の「華杏彌太郎」という料亭・旅館にて開催し

ました。

当日は土曜日にもかかわらず、東筑会及び東筑高校、近隣地域東筑会の多数の来賓、東筑会総会の当番期(94期)の方々のご臨席を賜り、盛会裏に無事終了することができました。

前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、新役員、並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案どおりに承認されました。

引き続き行われた講演では、域外参加でしたが、福岡市で焼酎プロデューサーをされておられる黒瀬暢子氏(90期)より「宗像三女神と焼酎の関係」と題して、焼酎が女性によってつくられたという説を熱く語っていただきました。宗像という地名が焼酎と関係あることを初めて知り新しい発見をした次第です。

また、懇親会では初めて参加された方にお話していただいたり、校歌を歌ったりして終始和やかな雰囲気で行うことが出来ました。



勝浦「華杏彌太郎」にて総会・懇親会(令和7年4月12日)



さて、宗像東筑会の活動としては、毎年6月、宗像市主催の「市民交流まつり」にバザーの出店をしており、東筑高校の幟を掲げて地域活動に積極的に参加しております。また、昨年には、宗像市が主催している「旧唐津街道の清掃活動」にもボランティア参加し、東筑高校のPRに一役買いました。今後は毎年参加をしていく予定です。もしこの会報をご覧の会員の方が参加してみたいということであれば是非一報ください。

最後に、この会報をごらんになった宗像・福津にお住まいの東筑高校卒業のみなさん、年1回の総会・懇親会には是非ご出席いただき、よき時代を思い出そうではありませんか。

ご協力宜しく願います。

事務局長 門司 剛(63期) 記

## 北海道東筑会

令和7年度の北海道東筑会の総会・懇会は5月31日に札幌で開催され、7名が集いました。地元福岡からはご多用のところ、深田高一東筑会会長と当番期94期の安川淳志様には、遠路にも拘わらずご臨席いただき、誠にありがとうございました。

母校や地元折尾の近況について拝聴すると、異郷の地、北海道で暮らす者としては、若かりし日に故郷で過ごした記憶が甦るとともに、変貌し続ける故郷の今を追認し、隔世の感を禁じ得ない心境に至ります。

北海道東筑会の懇親会には札幌をはじめ、道内に在住の方や進学で来道された方、またお仕事の都合で北海道に赴任された方にもお越しいただいております。今夏は偶然にも、同窓の方の

札幌赴任を報道で偶然知るというサブライズがありました。同窓生が全国でそして世界で活躍されていることを心強く思います。

同窓会とは、同じ学び舎で過ごした方々の世代を越えた集まりですが、それぞれが人生を歩むなか、時に振り返ってみたときに「そうそう！それそれ！」と相槌を打ってくれる仲間と共感や共鳴できる集まりであることが、醍醐味のひとつだと思います。この魅力を今後どのように知っていたかどうか、それが同窓会に課せられた課題のひとつではないかと最近感じるところです。

## 各期だより

### 52期だより

卒寿の歳の関西52期、今年も4月8日同期会を大阪梅田で行った。近年は春と秋の年2回開催している。今回は4名、聊か寂しいものの半年ぶりの顔合わせ。若かりし頃は酒なくて何ぞ己がの酒豪揃いも、今や口を潤す程度であるけれど在校時の想い出話や故郷や母校の近況、昨今の暮らしぶりなどで、話に花が咲く。

関西52期会は80年代初頭から始まり爾来延々と続けている。当時は20名前後の参加者で、更に他地区からの参加も有ったりして、賑やかであったが、今や鬼籍に入った者や転出などで、すっかり少なくなっただけで、いえいえ、まだまだ続ける。秋11月8日にまた集まる約束をした。多分、次回は参

加人数も少し回復するのでは。

(52期 本田隆三 記)



大阪梅田で関西52期卒寿の同期会(令和7年4月8日)



懇親会後の記念撮影

事務局長 鈴木淳志(85期) 記

## 61期だより

### 27回目のブラリ旅

令和7年4月4日金曜日、いつもの通り水巻のカフェ。竹の子に13時20分集合、13時30分に出発。今回は男性12人、女性7人、計19人の旅行となりました。行き先は筑後川温泉で、宿は初めての旅館「清乃屋」。途中トイレ休憩で、敷地面積で西日本最大級で一億円トイレで話題となった「道の駅 おおとう」に立ち寄り、目的地旅館「清乃屋」に到着。宴会まで時間が有り、風呂に入る者、周辺を散策する者有り。筑後川温泉はリウマチ、神経痛、疲労回復、美肌、などの効能があるとされています。泉質はアルカリ性単純硫酸温泉やラジウム温泉で、美人の湯、美肌の湯と呼ばれています。今回泊まった清乃屋は、日本三大河川筑後川の河畔にたたずむ草花と季節の会席料理が自慢の宿で、宴会の前に風呂に入りましたが、美肌の宿と称されトロトロの掛け流し温泉で、熱目でぬるぬると気持ち良かったです。

宴会開始。料理は会席料理、盛り付けもきれいで味も良かった。昨年は筑後川をはさんで向かいの原鶴温泉、一昨年は宿は違ったが筑後川温泉。前回は二人のカラオケがありました。今回は無しでもっぱら会話中心、無理もない皆80歳以上、年には勝てません。朝食は、健康を保ち一日の活躍を約束する源です。品数も多く、皆びっくりした様子でした。

帰りは10時出発。「道の駅 原鶴ファームステーション バサロ」で買いたれたお土産を購入。ここは、その



日朝採れた新鮮な野菜、果物、手作りで人気の加工品がならんでおり、特に惣菜、お弁当、漬物などの豊富な食材が勢ぞろいしていて、女性達は夕食の食材を調達していました。トイレ休憩で「道の駅 歓遊舎ひこさん」に立ち寄り、全員無事に、元気で水巻の、竹の子に到着しました。



27回目のブラリ旅 筑後川温泉「清乃屋」

し現在まで活動を継続しています。同期の広田ご夫妻宅を引き続き事務局としてアットホームな活動拠点となし、会議に懇親会（飲み会）にと利用させて頂いております。ムツゴロウ会の活動を振り返ると当初からの同期会会報の発行・送付はもとより、07年修学旅行の思い出コース箱根温泉を皮切りに指宿・天草・ハワイ・神戸と各地で定期的に旅行形式の同期会を催し、大いに語らい大いに飲んだものです。



25年6月8日 黒崎駅前 龍鶴園にて 28名参加

ブラリ旅、27年も続くことはすごいことです。毎回世話をしてくれる古賀君、御苦労さんです。

(61期 井上孝之 記)

## 65期だより

### ―ムツゴロウの歴史―

95年の当番期を終えた直後、その集結した同期の熱い思いを残そうと、65期にちなんで「ムツゴロウ会」と命名

コロナ禍の自粛期間を経ての直近3年間は6月の東筑会懇親会終了後に黒崎駅前中華料理店で開催しました。何れも幹事の原田君が手腕を発揮し、信じられない予算で宴席を実現していただきました。

今年も喜寿の祝いも計画中ですが、更にゴルフに、お酒に、旅行にと……干潟に住むムツゴロウの様に益々元気に飛び跳ねたいものです。

(65期 徳王治行 記)

## 66期だより

### 地元の折尾で同期会

令和6年11月13日に折尾で同期会を開催しました。「ホームカミング折尾」と名付けて、変貌著しい折尾駅周辺を散策後、母校の東筑高校を訪問しました。当日は、地元がどう変わったかという気になるメンバーが、関東、関西、九州から37名参加しました。新築された折尾駅舎に集合し、昔の通学路を探しながら、東筑高校の正門まで向かいました。小川前校長、田中前事務長のご厚意により、学校の敷地内に立ち入らせてもらい、校舎や運動場を見学しましたが、卒業時とはすっかり変わった様子に過ぎ去った年月の長さを実感しました。その後、懇親会会場の陣原のアートレフクラブへ移動し、お互いの近況報告などをして、校歌を3番までしっかりと歌った後、解散しました。



懇親会の前に記念撮影

## 68期だより

我々も後期高齢者となり、体調不良により同期会行事への参加が難しくなったり、亡くなるメンバーが増えてきました。同期会の世話をしている事務局も今までのようなお世話が難しくなってきたため、喜寿となる来々、最後の同期会の開催を計画しています。開催場所については、アンケート結果により、最後はやはり地元での開催が良いという意見が多かったため、地元開催の方向で準備を進めています。

(66期 加来久幸 記)

68期の北九州近郊や福岡の有志で定期ゴルフコンペや随時に祝賀パーティ等をして交流しています。70歳前後で2度ホールインワンを達成されたり、定年後再入学して工学博士号を取得したり、剣道七段へ昇段した方などいろいろといます。また、仕事上お元氣



母校の正門で



その後、総会後の二次会（黒崎の居酒屋レストラン）に集いました。（写真）会の中では、同期現役プロマジシャン



黒崎の居酒屋レストランにて2次会  
（令和7年6月7日）



かつての通学路をだどり正門まで  
（令和7年6月7日）

に活躍のニュースもあります。70歳にして国産初の福岡県産米100%無添加米粉グルテンフリー乾麺開発（特許取得）をされたり、放送大学副学長を務めたりなどです。  
さて、本年は本部総会前に、現在行われている折尾地区総合整備事業で折尾駅からの昔の面影が残っているかなと、堀川沿いや通学に使った旧本町通り（東筑通り）を高校正門迄、有志で散策しました。正門迄何とか歩いてパチリ！「後ろ姿の（素敵な貴方）振り向かないで」東筑の人々（写真）。

今年6月の東筑会総会・懇親会には、70期の参加が当番期の時以外では最も多くあり、大盛り上がりでした。久々に会うメンバーもいて、あちらこちらで話が弾んでいました。  
会場であるクラウンパレス北九州で懇親を深めたあととも話は尽きず、2次会は黒崎にある香味屋（こうみや）へ。3年ぶりの香味屋開催です。



70期が多く参加してくれた今年の総会・懇親会

まだまだ元気な70期

## 70期だより

の妙技に、皆は魅了されました。  
地元にお帰りの際は 桃田剛、櫻井日出也、牛島重臣迄ご連絡下さい。  
（68期 牛島重臣 記）

古希を超えたみんなの話題は、「健康」「子どもや孫などの家族」「日々の楽しみ」等のくつろいだ話を中心でしたが、時間を忘れるほど遅くまで盛り上がりしました。70期のみんなはまだまだ元気です。毎回ながら、同期の「絆」の強さをとても嬉しく思いました。  
さて、70期では毎年1月に「新年会」（八幡西区筒井町にあるイタリアンレストラン「香味屋」で開催しております。多くの笑顔と楽しい話題が満載ですので、今後とも是非ご参加ください。期日等詳細は、幹事の須藤正樹君、濱田泉さんから事前に連絡がありますので、奮ってご参加ください。  
これからも健康第一で、一日一日をお元気で過ごしてください。皆さん、またの再会を楽しみにしております。  
（70期 青野元昭 記）



70期新年会 2025年1月11日（於 香味屋）

今年は参加者が少数精鋭でしたが、それなりに楽しめました。総会・懇親会後黒崎に移動し71期会を開催しました。岡さんは今日が誕生日。「71歳のお祝いを71期会で」とお祝い。ふっとすだれをあげると、隣は小川前校長81期の



東筑会懇親会での71期（令和7年6月7日）

#1

東筑会の総会、懇親会に続いて71期会を開催しました。

同期会じまい！？71期は続けますよ！！  
古希の集まりと  
今後の行事のお知らせ

## 71期だより





総会・懇親会後の黒崎での71期会  
小川昇二郎(81期)前校長も一緒に(令和7年6月7日)

クラス会。「後輩やん。」ということでは早速記念撮影！そのあとカラオケ店に行き、歌いまくりました!!

林事務局長、ポスター制作の三橋さん、他の役員のみなさんありがとうございます。

## #2 今後の予定です。

おかげさまで同期生のほとんどの方が古希を迎えます。それを記念して令和8年2月には沖縄で古希の集まりを予定しています。他には、昨年好評だった同期の松木くんの果樹園でのバーベキューとフルーツ狩りを、令和7年盆過ぎから9月に、夏頃には皿倉山山頂のビアガーデンや、ちょこちょこ飲み会を予定しています。

改めてご連絡を差し上げますので、奮ってご参加ください。

## #3 同期会じまい!?! 71期は続けますよ!!

「同期会じまいをした」というお話を耳に挟みます。

71期は私、三宅が会長の間は同期会じまいはしないつもりです。規模は縮小されるかもしれませんが、続けていきます。私は杖をついてでも這ってでも参加するつもりです。同期の皆様も事情が許せば今後是非お集まりください。お待ちしております!!

(71期 幹事 三宅正輝 記)

## 74期だより

### 熟々年修学旅行

私たち74期が東筑高校の門を叩いた1973(昭和48)年は、まさに躍進期の昭和の真った中でした。内閣を率いていたのは、かの田中角栄氏、チューリップが「心の旅」で脚光を浴び、かぐや姫の「神田川」が大ヒットした年です。朝日新聞の記者を経てTBSでニュースキャスターをされていた入江徳郎氏、衆議院議員で後に文部大臣、防衛庁長官などを歴任される三原朝雄氏、任侠映画の大スターで後に昭和を代表する映画俳優と称される高倉健氏など、多くの東筑高校の先輩方が各界で活躍されていました。そんな時代、十代半ばだった私たちが本校に学び、スポーツに武道に汗を流していた頃から、はや半世紀が過ぎようとしています。

そんな74期の仲間たちは昨春秋、あの青春をもう一度、との思いで長野県の「上高地」を中心に、信州と飛騨高

山への「熟々年修学旅行」に赴きました。地元福岡はもとより、関東や関西、広島から同窓の仲間29名が名古屋に集合、お昼に「ひつまぶし」を頂いて旅がスタートしました。愛岐観光のバスで安曇野に向かい、大王わさび農園を散策。初日は松本市に宿泊して郷土料理を堪能し、久々の同窓との再会に杯が止まりませんでした。



長野県善光寺にて

翌日は松本城、善光寺を散策、お参りをし、いよいよ思い出の地「上高地」へと向かいます。半世紀前、私たちはこの地を修学旅行で訪れたのでした。「上高地」ではそれぞれの思い出を胸に抱きながら、この半世紀の自らの来し方を振り返り、東筑高校での様々な方々との縁の有難さをかみしめて、心から感謝の念に浸ることのできるひと時となりました。そしてその日の夕刻には飛騨高山に入り、翌日は飛騨高山の朝市やまつりの森などを見学して、再び名古屋に戻ってそれぞれ

の家路に向かったのです。



上高地にて

旅をエスコートして頂いた、我々とは同年代の愛岐観光バスの女性ガイドさんの、同年代ならではの気の利いた接遇も素晴らしく、本当に思い出に残る74期の「熟々年修学旅行」でした。そして来る2026(令和8)年は、私たちが東筑高校から巣立って50年、半世紀となる節目の年を迎えます。「筑紫の子」として生き抜いてきたこの半世紀を顧みながら、それぞれが元気で再会できることを誓い合った「熟々年修学旅行」となりました。

(74期 白石行洋 記)

## 76期だより

今年の3月に全員が65歳に達した76期です。今回は35年間続いている3年5組の同窓会を紹介させていただきま



高校卒業後、何度かのクラス会を経て1990年(31歳の頃)「3の5同窓会」として正式に発足、その後はコロナの感染拡大で自粛した年を除いて毎年黒崎で開催、当番期の頃からは、できるだけ多くの人が参加できるようにと日程を12月30日17時からと決めた現在に至っています。大掃除や正月準備で忙しい中、皆上手に(適当に?)やりくりして参加、年末の恒例行事となりました。



1995年1月(35歳)

当番期前は「同窓会は欠席」と決めていた筆者でしたが、高校時代は殆ど話をすることがなかった級友たちの優しさや温かさに触れ「もっと話をしておけばよかった」との後悔を胸に17年前からは毎年参加しております。昨年は他クラスから参加してくれた5名を含む18名で賑やかに過ごしました。

だが、私たちの立場も実家に帰る側から帰省する子どもたちを迎える側に。ご両親が亡くなられて実家が無くなった人など私たちを取り巻く環境は年々変わり、長く会えない同級生たちもいます。



2009年12月30日(50歳)



2024年12月30日(65歳)

でも、これまで続いたのでこれから集まりやすい形を皆で相談しながらこれから先も続けていけたらよいなと思っております。50年を目標に!

(76期 太崎幸子 記)

## 77期だより

### 『修学旅行』と野球部

昭和52年の秋、私たち野球部員8人は修学旅行で信州を訪れるはずでした。しかし、九州大会予選の準々決勝が直前に迫っていたため、参加を見送ることになりました。同級生が信州へと向かう中、私たちは、グラウンドで泥にまみれ、練習に励んでいました。信州の美しい風景や友人たちの笑顔を想像するたび、心の奥に少しの寂しさがよぎったことが今も思い出されます。

その頃の私たちは、甲子園出場という目標に全力を注いでいました。汗をかき、声を枯らし、一球一球に思いを込め、必死にボールを追い続けており、その姿は、正に青春そのものでした。負けられない闘志の中で過ごした時間は、決して色褪せることのない大切な記憶となり、今も残っています。信州の美しい星空ではなく、高校のグラウンドの上に輝く夜空とともに。

いずれにしても振り返れば、77期生にとって、修学旅行も甲子園を目指した練習も、どちらの時間も、その後の人生にとって大切なものとなったに違いはないと思います。

最近、同級生から修学旅行に行けなかった私たち野球部員のために、修学旅行パート2に行きましょうという声が上がっています。とても嬉しいことです。齢を重ねた今、もう一度高校2年生のあの秋にタイムスリップし、修学旅行パート2に参加してみたいと思います。

(77期 幹事 太田清治 記)

## 80期だより

我々80期は、15年前に120名以上の同期と力を合わせて東筑会総会・懇親会の当番を終え、以降毎年楽しく同窓会に出席しています。久しぶりの再会にもかわらず前置きなく同期と会話が弾み、また部活等の先輩・後輩と挨拶もでき、そして周囲に気兼ねなく大声で校歌が歌えること等、今年の同窓会も有意義な時間を過ごすことができました。

さて、今回その際に話題となった内容を紹介させていただきます。

私は2023年10月にNHKで放送された「プラタモリ」に出演させていただきました。

80期集合写真/2025年6月7日(土)  
クラウンパレス北九州にて

北九州市の歴史/5市合併に関して、2週にわたって紹介された企画の中で、



日本で19番目の世界遺産として登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の構成資産となった「官営製鐵所」の現存施設を日本製鉄が所有しその管理を私が担当していたことから、そのパートの案内役として出演しています。直に見るタモリさんと野口NHKアナウンサーに緊張しつつも、親切で愉快なプロデューサー（北筑高校OB）や撮影スタッフの方々のドタバタした約1時間の撮影対応は貴重な体験となりました。タモリさんは気さくで気遣い上手な方であり、また番組で繰り広げられる「ひらめき」に感心したことを覚えています。

80期で世界遺産ツアーやろうよ！と同窓会で提案され、プラタモリルーの案内役となり実現したいと思っています。

（80期 江口 悟 記）

## 81期だより

過日開催されました2025年度東筑会総会では14名の81期同窓生が集まり、その後、黒崎で最近人気が高まっている韓国料理の名店『釜山亭』にて二次会を開催しました。二次会では当期の同窓生で、今年3月までの2年間に亘り本校の校長を務めてきた小川昇二郎君の慰労を行うとともに、東京東筑会幹事長の原田耕太郎君も駆けつけなど、久しぶりの再会で大いに盛り上がりしました。

小川君は校長時代の2年間、「鼻血が出るまで勉強しろ」の名言（？）から始まり、様々な取組を通じて名校長ぶりを発揮されしっかりとその軌跡を残

せたものと、当期同窓生一同誇らしく思っています。小川君、2年間大変お疲れ様でした。



釜山亭での2次会。隣の席は71期の皆さんでした。

ところ、当期同窓生は昨年還暦を迎えたことを機に、個別のLINEグループとは別に、当期全体でのLINEグループのアカウントを開設することにしました。当該LINEグループへ参加された皆さんが、それぞれの近況や当期関連の情報・連絡事項等のやりとりを含め、自由なコミュニケーションを活発に行うことができればと考えています。当期同窓生の皆さんへは既にご案内を差し上げていますが、改めてメールやインスタグラムでご連絡しますので、参加登録がまだお済みでない方は是非ご登録いただきますようよろしくお願い致します！

（81期 小野貴和 記）

## 88期だより

東京の増上寺、京都の知恩院に引き続き、第3回目の「大人の修学旅行」として、令和7年5月24日から1泊2日で、88期の有志28名が日光へ行ってきました。初日は、特別に大正大学史学科教授の中川仁喜先生のご案内のもと、輪王寺を3時間ほどかけて参拝し、普段、誰も見ることができない場所などもご案内いただきました。日光という場所は江戸幕府初代將軍の徳川家康と三代將軍の徳川家光が、日本の平和と安寧を今も祈り続ける存在として、それぞれ東照宮と輪王寺でまつられていた場所であり、まさに北関東から日本を護る霊域であることが分かりました。夜は、鬼怒川温泉のホテルで宴席です。特に本年4月に決定した、東京の増上寺が所蔵する三種の大蔵経をユネスコ「世界の記憶」国際登録に際し、この申請書類を執筆した柴田に対して、同期で声高に祝杯をあげました。この三種の大蔵経もまた徳川家康が増上寺に日本の平和を祈念して寄進したものであり、家康ゆかりの地において祝杯をあげることに、不思議なご縁を感じました。2日目は東照宮を参拝してから、華嚴の滝まで足を伸ばしてから、帰路に着きました。

こうして第3回の大人の修学旅行は無事に終わりましたが、五十路半ばにもなると、何か目標があることで、毎日を生きていくと頑張ることができるといふことを実感した次第です。同期という最も安心できる仲間たちとともに、数年後、またどこかに旅行できると思うと、「その日まで元気でいよう」と自分を鼓舞し、またその日に向かって

日常の生活を送ることが出来ます。88期はこの「大人の修学旅行」企画を続け、還暦を目指したいと思っています。

（88期 柴田泰山 記）



日光輪王寺金堂前にて

## 102期だより

102期は令和6年12月29日、黒崎のアートクレフクラブにて9年ぶりに同総会を開催しました。

本来は、4年に1度の開催を予定していたのですが、前回は幹事の多忙で年末の開催ができず、そのままコロナ禍に突入したため、開催できずにいましたが、今回、柔道部主将だった小山翔平くんを中心に地元同士の男性陣が声を上げ、無事に開催に至りました。



当日は、仕事や子育ての真つ最中かつ年末の忙しい時期にもかかわらず、50名が参加しました。お互いの変わったり、変わらなかつたりする姿に笑いつつも、すぐに20年前の高校生の時代に返り、楽しいひとときを過ごし、同総会は盛会に終わりました。

かくいう私は、開催直前にインフルエンザに罹り、帰省すらかなわず、翌日送られた同総会の写真で、みなさんの楽しそうな様子を見ながら、次回こそは絶対参加しようと心に誓うのでした。

連絡先の分からない同期が増え、同総会の連絡が行き渡らない面もあったため、4年後は開催時期や連絡方法なども工夫しながら、より多くの同期に参加してもらえようとして、当番期への結束を強めていきたいと思っています。

(102期 川本一子 記)



9年ぶりの102期同窓会 令和6年12月29日アートクラブにて

## 119期だより

暑さの名残を感じつつも、晴れやかな秋空が広がる季節となりました。

119期幹事長の濱口樹です。

私たち119期は、今年から多くの仲間が大学を卒業し、社会人としてそれぞれの道を歩み始めました。私自身は現在、大学院でスポーツリハビリテーション学の研究に取り組みながら、理学療法士として病院に勤務しています。春は新たな環境に戸惑い、夏は異常気象を嘆きながらも、社会に出ることの意味や、全ての行動に責任を持つことの重み、そして「報・連・相」の難しさを日々実感しています。

2025年5月29～31日に開催された  
World Physiotherapy Congress 2025

私事ではありますが、近況をご報告させていただきます。5月末に東京で

開催された理学療法の国際学会に参加いたしました。3日間にわたり、世界中から5000人を超える参加者が集まり、会場では英語が共通語として使われていました。その中で、あらためて「使える英語力」の重要性を痛感しました。旅行、留学、ビジネスなど目的はさまざまですが、多様性が尊重される現代社会を生きる上で、「受験英語」ではなく「話せる英語」が求められていると強く感じました。

(119期 濱口 樹 記)

## 120期だより

私たち120期生は来年の3月に高校卒業から4年が経過し、4月には就職や大学院進学となる方も多いと思います。この春を期に福岡から生活の拠点を移す方も多くいるのではないのでしょうか。全員が集まれる同窓会はおそらく来年が最後のチャンスになるだろうと思います。120期生徒会長の山川瀬南さん、上田侑菜さんと中川の3名で同窓会の計画を現在行なっています。

先日はオンラインではありませんが企画会議を行い、現在の予定では開催日は令和8年1月4日(日)、場所は現在調整中です。まだ未確定の部分も多くありますので、各クラスのグループLINEを中心に同級生の皆さんへ同窓会の詳細な案内をできればと思っています。

ほとんどの同級生とは2年ぶりの再会になるのではないのでしょうか。前回の参加が叶わなかった方もぜひご参加いただき、高校時代や前回の同窓会を思い出すひとときにできればいいなと企画者一同考えています。



120期の成人式同窓会

開催が実現した暁には、東筑会報にて開催報告をさせていただければと思います。120期生の皆さんと再び顔を合わせることができる日を企画者一同楽しみにしています。

(120期 中川湧太 記)



## 編集後記

今年の東筑会報第46号も同窓の皆様のご支援・ご協力をいただき、お手元にお届けすることができました。心から御礼申し上げます。

今年の総会・懇親会では、当番期94期の「織り成せ 永遠(とこしえ)の縁」というテーマの下、大盛会となりました。94期の安川会長のもと、同期の皆様方が力を合わせ、入念に準備され、総会・懇親会を立派に運営していただきました。本当にありがとうございました。

さて、今年は戦後80年を迎え、戦争や平和についてマスコミで多く取り上げられていました。私は6月23日の「沖縄慰霊の日」に合わせて、沖縄の戦跡の旅をしてきました。沖縄の戦争死者数は、一般住民の犠牲者が極めて多く、県民の4人に1人が亡くなったとされています。ひめゆり学徒隊の悲劇や学童疎開船「対馬丸」の沈没、集団自決をはじめとして、沖縄戦の戦争被害は語りつくせないほどあることを実感しました。

日本は80年間戦争をしていませんが、世界的に見てもこれは極めて少数です。国民の多くの犠牲の上に今の平和があることを、決して忘れてはならないと思います。

さて、今年の夏の全国高校野球選手権大会では、沖縄県勢にとって15年ぶりとなる沖縄尚学高校の優勝。沖縄県民がこぞって大喜びされる姿が多くありました。全力を尽くすスポーツ選手やその応援をする方々の姿は、本当に清々しいものです。平和の時代だからこそ見れる美しい光景だなと感じた次第です。

一方、世界を見渡せば、ウクライナやガザ地区をはじめ、戦争や紛争がまだまだ続いています。一日も早い戦争の終息と、世界の平和を願うばかりです。話は変わりますが、高校野球の発展に尽くされた指導者として、日本高校野球連盟と朝日新聞社から、東筑高校野球部の青野浩彦監督(77期)が「育成功労賞」の表彰されました。43年間の長きにわたり高校野球を指導され、東筑高校野球部監督として、春夏4回も甲子園に導いていただきました。8月15日に、甲子園球場に敷かれたレッドカーペットの上で東筑高校野球部の

## 東筑会報の全会員への 送付の見直しについて

東筑会報は現在まで、年1回、全員に発送してきました。しかしながら、昨今の物価高や郵送料など諸経費の高騰により、東筑会報作成にかかる経費や送料も確実に上がってきています。東筑会役員会での協議を経て、左のようにいたしますので、何とぞご理解をいただければと思います。

○今年については、従来どおり全会員に発送する。  
○今年を含め過去5年間会費の納入がない場合は、来年から会報発送を控える。(対象は47歳以上)

東筑会の財政状況は極めて厳しくなっており、これからの会費の納入については、是非お願いいたします。

## 令和6年度 会報発送・年会費納入状況

令和7年4月30日現在

| 期  | 6年発送 | 6年納入 | 期  | 6年発送 | 6年納入 | 期   | 6年発送   | 6年納入  |
|----|------|------|----|------|------|-----|--------|-------|
| 22 | 1    |      | 57 | 273  | 87   | 92  | 257    | 23    |
| 23 | 1    |      | 58 | 277  | 65   | 93  | 243    | 23    |
| 24 | 2    |      | 59 | 316  | 71   | 94  | 200    | 32    |
| 25 | 3    |      | 60 | 277  | 58   | 95  | 200    | 13    |
| 26 | 0    |      | 61 | 273  | 57   | 96  | 203    | 19    |
| 27 | 2    |      | 62 | 307  | 71   | 97  | 205    | 8     |
| 28 | 2    |      | 63 | 355  | 74   | 98  | 236    | 18    |
| 29 | 3    |      | 64 | 284  | 63   | 99  | 214    | 16    |
| 30 | 5    |      | 65 | 297  | 78   | 100 | 209    | 14    |
| 31 | 5    |      | 66 | 275  | 74   | 101 | 230    | 13    |
| 32 | 14   |      | 67 | 281  | 66   | 102 | 207    | 14    |
| 33 | 0    |      | 68 | 283  | 69   | 103 | 233    | 4     |
| 34 | 6    |      | 69 | 315  | 69   | 104 | 228    | 11    |
| 35 | 5    |      | 70 | 264  | 66   | 105 | 240    | 7     |
| 36 | 4    |      | 71 | 277  | 67   | 106 | 245    | 11    |
| 37 | 8    |      | 72 | 327  | 79   | 107 | 229    | 11    |
| 38 | 8    |      | 73 | 238  | 65   | 108 | 242    | 9     |
| 39 | 18   | 1    | 74 | 243  | 57   | 109 | 250    | 9     |
| 40 | 15   |      | 75 | 262  | 52   | 110 | 237    | 9     |
| 41 | 12   |      | 76 | 264  | 56   | 111 | 259    |       |
| 42 | 19   | 1    | 77 | 244  | 58   | 112 | 259    |       |
| 43 | 20   | 1    | 78 | 216  | 49   | 113 | 309    |       |
| 44 | 34   | 4    | 79 | 240  | 33   | 114 | 282    |       |
| 45 | 26   | 4    | 80 | 209  | 41   | 115 | 290    |       |
| 46 | 42   | 2    | 81 | 235  | 46   | 116 | 269    | 1     |
| 47 | 50   | 3    | 82 | 284  | 59   | 117 | 271    |       |
| 48 | 92   | 12   | 83 | 217  | 26   | 118 | 287    |       |
| 49 | 191  | 27   | 84 | 243  | 42   | 119 | 298    |       |
| 50 | 222  | 26   | 85 | 239  | 32   | 120 | 262    |       |
| 51 | 258  | 31   | 86 | 232  | 30   | 121 | 254    |       |
| 52 | 262  | 39   | 87 | 243  | 35   | 122 | 272    |       |
| 53 | 284  | 41   | 88 | 302  | 30   | その他 |        | 1     |
| 54 | 351  | 55   | 89 | 278  | 29   |     |        |       |
| 55 | 233  | 37   | 90 | 264  | 24   |     |        |       |
| 56 | 270  | 73   | 91 | 258  | 17   | 計   | 19,480 | 2,518 |

○令和5年度納入2,480人 ○令和6年度納入2,518人  
◎実質納入率…15.6% (2,518人/16,168通)  
◎16,168通=19,480通-3,312通 (111・122期生)  
◎令和7年度から111期生の年会費納入が開始されます。

ユニフォーム姿で登場された青野監督は、高野連会長から表彰盾を受け取られました。その場面はテレビでも放映されており、東筑ユニフォームを着た青野監督の姿は輝いていました。長年の高校野球のご指導、本当にお疲れ様でした。そうして、ありがとうございます。

最後になりましたが、今年も東筑同窓や学校から多くの投稿をいただきました。本当にありがとうございます。会報の編集の中で、東筑同窓の「絆」の強さを何度も感じました。会報作成に関わってくださった関係者の皆様には、心から感謝申し上げます。  
会報委員長 青野元昭(70期)

## これからの東筑会の情報は ウェブサイトでチェック!!



- ・必要な情報はプリントアウトで即保管。
- ・懐かしい校歌や一本松や正門を掲載。
- ・場所もスグに確認できる、お問合わせアクセス。
- ・同窓会期リンク集を掲載。

**www.tochikukai.jp**

## 新住所を事務局へご連絡ください

☆住居表示に変更・改姓・転居された方

\*個人情報保護の観点から会員個人情報は適切に管理し、正確性・安全性の確保に努めます。

事務局 Tel 093-603-6815 Fax 093-603-6820  
E-mail tochiku\_k@ybb.ne.jp(担当 佐藤)